

594

79

594-79



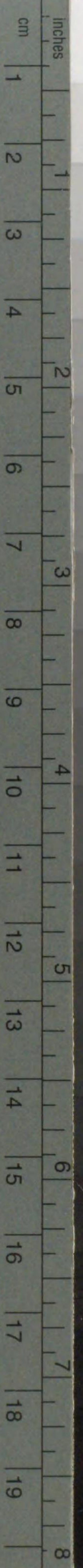
1200501527003

# Kodak Gray Scale



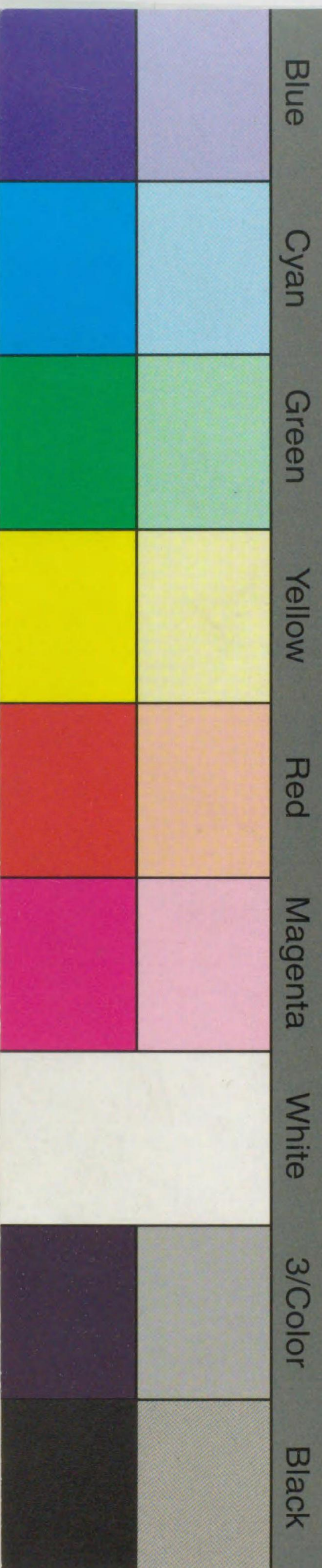
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak





30. 8. 10



459  
1



東京府史

府會篇

第五卷



發行所寄贈本



594-79

## 凡例

- 一 第五章府會の行動其の二は、明治三十二年七月改正府縣制施行以來昭和三年十月末日に至る迄、府會市部會郡部會に於ける議事の梗概を年次によつて節に分ち、更に開會の順序を逐つて記載するものであるが、茲に編纂の成つた明治四十年より大正三年に至る八箇年分を第五卷として發行したのである。
- 一 重要なる府會議員協議會に關しては、便宜其の梗概を適所に掲げた。
- 一 各會議の記述は、之を三つに分ち、第一に、開會閉會の年月日、會議日數、知事の開會並に閉會の辭、議事參與員の官氏名、特筆事項等を記し、第二に、議案、諮問案、決算報告、建議案等の題目を掲げ、各其の下に議決の結果を記して豫め成果を知るに便とし、第三に、議決摘要として付議案件の内容に涉つて記載することとした。
- 一 本府會は三部制の議會であるため、開會閉會若しくは議事參與員の通知其の他共通の事項等は總て府會に於て行はれ、市部會郡部會では之を省略するのが通例であつたから、自然各部會には其の事項を缺いてゐる。
- 一 知事の開會の辭は、通常會と臨時會とを問はず、付議事件の内容、議案編成の方針



招集の理由等を知るために必要の資料であるから、可成之を掲載した。

一 議案及諮問案は原案を掲げ、其の可決されたもの、外は、成議を挿入し、修正其の他の理由を付して議決の精神を明にした。しかし、見積を過當として削減し、又は前年度の額に依つて修正し、或は他の修正の結果に伴つたもの等は、大部分之を省略した。

一 議案に對して、第二讀會を開くべからずと決した場合に、一般には、或は廢棄と言ひ、或は廢案と稱し、兩者を共通の稱呼として取扱つて居るが、本書では、原案の實質を廢罷する趣旨なれば、廢棄と記し、他の議案に合併し、又は他の方法で其の事業を施行し、議案の内容に對し廢否する趣旨でないものは、廢案と記した。

一 收入豫算は、支出若くは課率の修正變更に伴ひ修正することが多いので、特別の場合を除く外は修正の理由を省略した。

一 府税賦課の方法及營業稅雜種稅課目課額は、別章に記載するから、新に發案となつた事項及會議に於て修正を加へた事項のみを掲げることにした。

一 豫算中府税は、其の國稅の附加稅たると獨立の府税たるとを問はず、課稅標準の記載は省略し、課率のみを參考として附記した。

一 建議及決議は、別章に其の重要なるもの、全文を掲げるから、こゝには其の大意を記載するに止めた。

一 決算報告を始めとし、豫算の各科目は擧げて調査委員に附託されるが、委員に於て廢棄、修正、附帶決議其の他特別の決議をした場合を除き、單に承認すべし、又は原案を以て二讀會に付すべし、若くは原案を可決すべしと決議報告した場合は一々之を記載しないことにした。

一 特別會計の豫算は、從來其の内容に涉つて掲載したが、明治三十九年からは、議案番號豫算名稱議決の結果のみを掲げることにした。其の理由は、該豫算は性質が單純で、其の内容たる款項の名稱等もあまり變更がなく、たゞ豫算金額のみが毎年度多少の異動があるに過ぎないので、府會に於ては、從來多くは讀會を省略して議決するのを例としたが、三十九年からは更に一步を進めて各特別會計豫算の總てを一括して議題とし、且讀會を省略して議決するのが例となつた。議會の態度が斯様であるから、煩を避けて省略することゝしたものである。しかし、新に豫算を設定し若くは追加、更正した場合又は議會で修正のあつたときは内容に涉つて掲げることゝした。



# 東京府史 府會篇

## 大目次

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 第一章 東京府の沿革      | 第一卷 |
| 第一節 東京府の設置      | 第一卷 |
| 第二節 東京府の位置面積及管轄 | 第一卷 |
| 第三節 管轄地の沿革      | 第一卷 |
| 第二章 府會の組織       | 第一卷 |
| 第一節 議員選舉區及定數    | 第一卷 |
| 第二節 議員選舉及其の結果   | 第一卷 |
| 第三節 議員在職年數      | 第一卷 |
| 第四節 議員の異動       | 第一卷 |
| 第五節 議長の選舉及其の結果  | 第一卷 |



第六節 議長の在職年數……………第一卷  
 第七節 議長の異動……………第一卷

第三章 常置委員會・參事會の組織……………第一卷

第一節 常置委員參事會員の定數……………第一卷  
 第二節 常置委員名譽職參事會員の選舉及其の結果……………第一卷  
 第三節 常置委員參事會員の在職年數……………第一卷  
 第四節 常置委員參事會員の異動……………第一卷

第四章 府會の行動 其の一(府縣會規則時代)……………第二卷

第一節 開會及閉會……………第二卷  
 第二節 明治十二年の府會……………第二卷  
 第三節 明治十三年の府會……………第二卷  
 第四節 明治十四年の府會……………第二卷  
 第五節 明治十五年の府會……………第二卷  
 第六節 明治十六年の府會……………第二卷

第七節 明治十七年の府會……………第二卷  
 第八節 明治十八年の府會……………第二卷  
 第九節 明治十九年の府會……………第二卷  
 第十節 明治二十年の府會……………第二卷  
 第十一節 明治二十一年の府會……………第二卷  
 第十二節 明治二十二年の府會……………第二卷  
 第十三節 明治二十三年の府會……………第三卷  
 第十四節 明治二十四年の府會……………第三卷  
 第十五節 明治二十五年の府會……………第三卷  
 第十六節 明治二十六年の府會……………第三卷  
 第十七節 明治二十七年の府會……………第三卷  
 第十八節 明治二十八年の府會……………第三卷  
 第十九節 明治二十九年の府會……………第三卷  
 第二十節 明治三十年の府會……………第三卷  
 第二十一節 明治三十一年の府會……………第三卷



第二十二節 明治三十二年の府會……………第三卷

第五章 府會の行動 其の二(府縣制時代)……………第四卷

第一節 開會及閉會……………第四卷

第二節 明治三十二年の府會……………第四卷

第三節 明治三十三年の府會……………第四卷

第四節 明治三十四年の府會……………第四卷

第五節 明治三十五年の府會……………第四卷

第六節 明治三十六年の府會……………第四卷

第七節 明治三十七年の府會……………第四卷

第八節 明治三十八年の府會……………第四卷

第九節 明治三十九年の府會……………第四卷

第十節 明治四十年の府會……………第五卷

第十一節 明治四十一年の府會……………第五卷

第十二節 明治四十二年の府會……………第五卷

第十三節 明治四十三年の府會……………第五卷

第十四節 明治四十四年の府會……………第五卷

第十五節 明治<sup>四十五年</sup>元<sub>正</sub>年の府會……………第五卷

第十六節 大正二年の府會……………第五卷

第十七節 大正三年の府會……………第五卷



# 東京府史 府會篇 第五卷

## 目次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 第五章 府會の行動 其の二(府縣制時代) |    |
| 第十節 明治四十年の府會         | 一  |
| 府會議員協議會              | 一  |
| 臨時府會                 | 一  |
| 臨時市部會                | 二  |
| 臨時郡部會                | 四  |
| 通常府會                 | 五  |
| 通常市部會                | 四六 |
| 通常郡部會                | 六六 |
| 府會議員協議會              | 九三 |
| 第十一節 明治四十一年の府會       | 九六 |



府會議員協議會

..... 九六

通常府會

..... 九八

通常市部會

..... 一三五

通常郡部會

..... 一五〇

第十二節 明治四十二年の府會

通常府會

..... 一七九

通常市部會

..... 二一三

通常郡部會

..... 二三一

府會議員協議會

..... 二四九

第十三節 明治四十三年の府會

府會議員協議會

..... 二五〇

臨時府會

..... 二五八

臨時市部會

..... 二六九

臨時郡部會

..... 二七四

通常府會

..... 二七八

通常市部會

..... 三二〇

通常郡部會

..... 三三四

第十四節 明治四十四年の府會

臨時府會

..... 三五五

臨時市部會

..... 三五六

臨時郡部會

..... 三五八

通常府會

..... 三五九

通常市部會

..... 三九三

通常郡部會

..... 四一七

府會議員協議會

..... 四四四

第十五節 明治四十五年の府會

臨時府會

..... 四四六

臨時市部會

..... 四五九

臨時郡部會

..... 四六一

府會議員協議會

..... 四六六



通常府會……………四六六

通常市部會……………四九九

通常郡部會……………五三〇

府會議員協議會……………五六四

第十六節 大正二年の府會

府會議員協議會……………五六七

臨時府會……………五六九

臨時市部會……………五七九

臨時郡部會……………五八一

府會議員協議會……………五八四

通常府會……………五八五

通常市部會……………六一九

通常郡部會……………六三六

府會議員協議會……………六五九

第十七節 大正三年の府會

……………六六二

府會議員協議會……………六六二

通常府會……………六六四

通常市部會……………七一〇

通常郡部會……………七二八

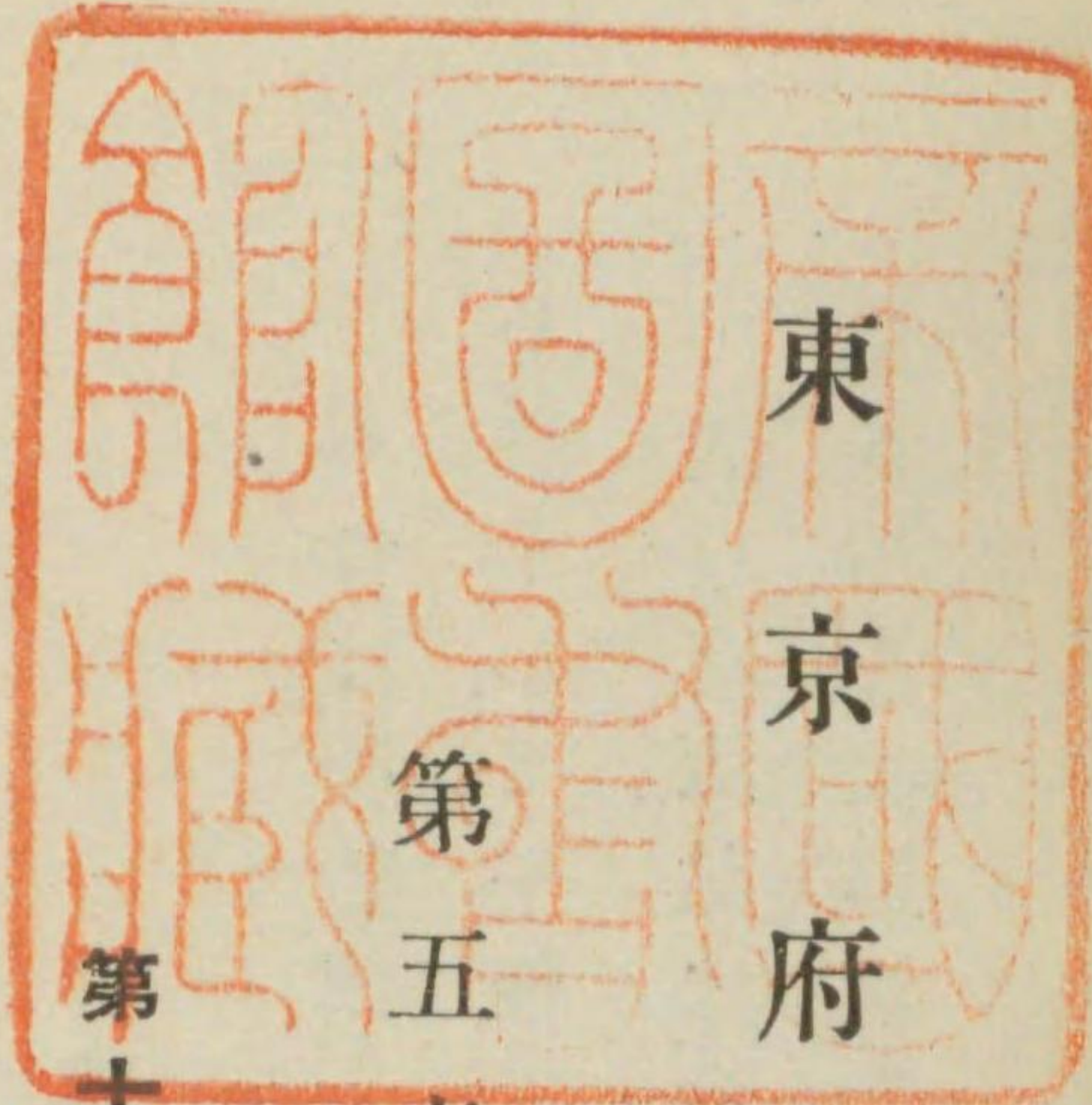
府會議員協議會……………七五二

關係法令拔萃……………七五五



東京府史 府會篇

第五章 府會の行動 其の二（府縣制時代）



第十節 明治四十年の府會

府會議員協議會

明治四十年九月十六日午後三時府會議員協議會を開き、府會議長齋藤孝治を座長として、次の事項を協議決定した。

一、千家知事ノ東京勸業博覽會事務ニ盡瘁セラレタル功勞ニ對シ感謝ノ意ヲ表スル爲頌德表ヲ贈呈スルモノトス但頌德辭文案其他ノ事項ハ齋藤議長ニ一任ス

（註）齋藤議長の斡旋に依り、頌德辭は徳富蘇峰氏の手に成り、武藏野の秋草が惠の露に濡ふの意味を織出した綴子仕立水晶軸の巻物とし、其の末尾に府會議員全員が署名したものである。

臨時府會

本會は役員選舉の爲招集されたもので、明治四十年十月二十二日午後二時四十



分に開會し、即日豫定の選舉を終了して、午後三時三十五分閉會した。

開會の當初に知事代理として、東京府事務官堀信次が開會の辭を述べた。

次に議員秦源祐は、會議の推薦によつて假議長となり、先づ、府會議長選舉の投票を行つて、杉原榮三郎が當選した。

杉原議長は、府會副議長の選舉を行ひ、會議の決定に基いて指名推選の方法に依り袴田瀧三郎と決定された。

議長は、會議の同意を得て、五木田治郎吉、佐伯幸四郎を會議録署名議員に選定した。

堀事務官は、知事代理として、閉會の辭を述べた。

### 臨時市部會

本會は、明治四十年十月二十二日午後三時十二分に會議を開き、即日豫定の選舉を終了して、午後三時二十四分散會した。

議員秦源祐は、會議の推薦によつて假議長となり、市部會議長選舉の投票を行ひ、長谷川吉次が當選した。

長谷川議長は、市部會副議長、參事會員、同補充員の選舉を行ひ、會議の決定に基いて指名推選に依り次の通夫々決定した。

#### 市部會副議長

徳岡梅吉

#### 參事會員

今野信隆

青木庄太郎

松見文平

水町猪三郎

#### 參事會員補充員

一、成島菊次良

二、酒井泰

三、關戸金三郎

四、村田權次郎

議長は、會議の同意を得て、袴田瀧三郎、照内芳次郎を會議録署名議員に選定した。



臨時郡部會

本會は、明治四十年十月二十二日午後三時二十五分に會議を開き、即日豫定の選舉を終了して、午後三時三十一分散會した。

議員谷岡慶治は、會議の推薦によつて假議長となり、郡部會議長選舉の投票を行ひ、松井寅太郎が當選した。

松井議長は、郡部會副議長・參事會員・同補充員の選舉を會議の決定に基いて指名推選の法を以て行ひ、次の通夫々決定した。

郡部會副議長

小澤芳重

參事會員

秋本喜七

瀬沼伊兵衛

井田忠信

富岡彦太郎

參事會員補充員

一、伊藤祐治

二、鶴岡英文

三、大木金兵衛

四、川口彌三郎

議長は、會議の同意を得て佐伯幸四郎・小澤芳重を會議録署名議員に選定した。

通常府會

本會は、明治四十年十一月二十八日午後二時十三分に開會し、會議四日間に涉り、十二月十七日午後四時十分議事終了閉會した。

開會の當初に、知事男爵千家尊福は、次の開會辭を述べた。

「本日ヲ以テ府會ヲ開キマス、當府會ニ提出シマスノハ四十一年度ノ豫算並ニ之ニ附帶スル議案デアリマス、豫算中ニ於テ主モナル事業ノ概略ヲ申シマスルト云フト、巡查教習所ノ改築、師範學校ノ新築、小學校教員住宅費補助、式根島避難所設置費補助、千住町地先橋梁新架、郡書記ノ増員、桑苗配付補助此等ノ種類ガ主モナル事業デアリマス、之ヲ當府會ニ提出イタシマス理由ハ豫算並ニ議案ニ添付イタシマシタ説明書ニ於テ御承知下サルヤウニ致シタイ



ト存ジマス、右等ノ次第デアリマスカラ宜シク御審議ノ上適當ノ決議アラシクコトヲ望ミマ  
ス(明治四十年府會速記録)

杉原議長は、次の事項を報告した。

未官發第一六五號

本年通常府會市部會郡部會ノ議事參與員別紙之通ニ有之候此段及通牒候也

明治四十一年十一月二十六日 東京府知事 男爵 千家 尊 福

東京府會議長 杉原榮三郎殿

(別紙)

東京府事務官 堀 信 次 東京府事務官 濱 野 虎 吉

東京府事務官補 久 保 義 三 郎 東京府技師 用 瀬 松 太 郎

東京府技師 王 供 阿 久 東京府屬 御園生 金 太 郎

東京府屬 竹 内 順 吉 東京府屬 高 橋 德 太 郎

東京府屬 佐 藤 襄 東京府屬 内 野 吉 次 郎

東京府屬 佐々木 哲 助 東京府屬 今 城 浩 一

東京府技手 鈴 木 琢 磨 東京府技手 鶴 間 安 次 郎

東京府技手 横 田 權 兵 衛

府縣制第四十九條ニ依リ明治四十年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ命  
ス

警 視 岡 田 文 次 警 視 太 田 政 弘

警 視 小 濱 松 次 郎 警 察 醫 長 栗 本 庸 勝

警 視 室 田 景 辰 警 視 廳 技 師 福 岡 常 次 郎

警 視 寶 田 通 經 警 視 屬 長 澤 誠 之 助

消 防 士 宇 田 川 貴 啓 消 防 機 關 士 土 田 團 之 助

警 視 廳 警 部 福 島 俊 作 警 視 屬 淺 田 福 一 郎

府縣制第四十九條ニ依リ明治四十年通常府會市部會郡部會ノ議事ニ參與ヲ囑  
託ス

未官發第一六五號ノ二

本年通常府會市部會郡部會ノ議事參與員左記之通追加致候此段及通牒候也

明治四十年十二月五日 東京府知事 男爵 千家 尊 福

東京府會議長 杉原榮三郎殿



未庶發第二四一號

府會議員左記之通異動候條此段及報告候也

明治四十年十一月 日 東京府知事 男爵 千家 尊 福

東京府會議長 杉原榮三郎殿

補闕當選 大川 誠 吾

次に前議長たる議員齋藤孝治は、こゝに、議員各位の諒解を得たい件がある。それは、同僚中里民平君が十月十一日急病の爲めに逝去せられ同二十一日に葬儀を執行はれた。御承知の如く、議員の逝去に際しては、豫ての申合せに依り議長から弔辭を贈呈する前例であるが、時恰かも改選後役員選舉前であつたため、議長其他の役員が未定であつて弔辭を贈呈することが出来ぬ。併し其の儘にして已むのは故中里君最後の名譽の爲めに遺憾に堪へぬから、僭越ながら自分が議員惣代の名義を以て次の如き弔辭を贈呈した。これは、其の當時全議員の同意を求め、ことは事情が許るさぬ爲め已むを得ず便宜取計つた次第である。希くは諒解の上事後承認せられたいと述べ、滿場異議なく之を承認した。

東京府會ハ議員中里民平君ノ遠逝ヲ哀悼シ茲ニ恭ク弔辭ヲ呈ス

明治四十年十月二十一日

東京府會議員惣代

齋 藤 孝 治

又議員松尾清次郎は、前年府會の決議に基き、議員秦源祐・田中吉右衛門・關戸金三郎・伊藤祐治及自分の五名が知事より實業視察を囑託せられ、東京府技手前田庄五郎と共に、十一月十一日出發約二十日間に涉つて兵庫・岡山・廣島・福岡・長崎・佐賀・熊本等の七縣を巡廻し一應の視察を終了した。其の顛末は別に書面を以て報告するが至る處に於て縣當局及縣會議員等から懇遇優待され視察上の便宜を與へられたのは實に意外として感謝に堪へぬところである。これは畢竟當府會の決議に基づく結果であつて、茲に此の名譽ある報告をなすは吾々一行の深く光榮とする所である。本會に對して感謝する次第である」と述べた。之に對し井田議員の發議で、一行が巡視した各縣當局に宛て議長から感謝狀を贈ることとした。

(附記) 實業視察は、爾後も引續き行はれてゐるが最初に於ける視察報告の概況を掲げたのである。



更に議長は、韓國皇太子李垠殿下が來る十二月十五日午後二時四十五分新橋驛（今の汐留驛）着にて御來朝相成るに付ては、善隣の關係上敬意を表する爲め、全議員が同驛に出迎へられんことを望む旨を述べた。

この會議に於ての特筆事項は、一、水害復舊土木費追加豫算の議決、二、師範學校（豊島）建築費繼續年期及支出方法の議決、三、農學校用地寄付願に對する受領の議決の三件である。

一 水害復舊土木費追加豫算の議決

本年八月非常水害に對する復舊土木費八拾參萬參千餘圓（内聯帶支辨七拾四萬八千八百餘圓、郡部支辨八萬四千餘圓）を、四十年度追加豫算として提出し、尙之に伴ふ名譽職土木委員設置規程をも併せて提出した。豫算も巨額であり殊に委員の設置も伴つて居るので本會に於ける最も重要な案件であつたが、復舊工事の已むを得ざる事業であるのは一般の認むるところであり、府會議員も豫め諒解するところがあつたため、會議は多少の質問應答を重ねたが結局原案に可決された。

又土木委員設置規程も可決され内務省の認可も得たので、十二月十七日委員七名補充員七名を議長指名を以て次の通選定した。

名譽職土木委員

|   |   |   |    |
|---|---|---|----|
| 中 | 島 | 行 | 孝  |
| 谷 | 岡 | 慶 | 治  |
| 秦 | 源 | 祐 |    |
| 佐 | 伯 | 幸 | 四郎 |
| 大 | 森 | 清 | 禎  |
| 沼 | 田 | 辰 | 五郎 |
| 中 | 居 | 健 | 藏  |

名譽職土木委員補充員

|   |   |   |    |
|---|---|---|----|
| 小 | 林 | 好 | 愛  |
| 大 | 川 | 誠 | 吾  |
| 澁 | 谷 | 龜 | 藏  |
| 大 | 井 | 玄 | 洞  |
| 永 | 田 | 義 | 原  |
| 廣 | 橋 | 嘉 | 七郎 |



二 師範學校、豊島、建築費繼續年期及支出方法の議決

小學校教員養成機關として、從來男女兩師範學校の設けあるも、就學兒童の激増に伴ひ、適當なる教員の不足を來すので、更に、男子師範學校一校を増設する見込を以て、建築費參拾貳萬四千九百餘圓を四箇年の繼續支出として議案を提出した。會議に於ては調査委員附託となり、其の調査の結果、成るべく早く授業を開始する爲め年度割に多少の修正を加へて可決された。本案も重要議案の一であつたが、一校増設の必要に迫つて居るのは、一般に認むる事實なので、格別の異論もなく可決を見るに至つた。

(註) 本案に基き設立されたのを豊島師範學校、在來の一校を青山師範學校と稱することとなつた。

三 農學校用地寄付受領の議決

西多摩郡小澤芳重外三十八名から、西多摩郡内に於て府の指定する場所に土地八千坪を府立農學校用地として寄付出願に付、之を受領する件は、何等異論なく讀會を省略して可決となつた。

(附記) 本案が可決された結果、青梅町に於て土地を寄付することとなり、府立農

學校の設立を見るに至つた。これは豫て府會の建議もあり、本案寄付願は學校設立の前提として當局と府會との間に諒解が成つて居た爲め、容易に可決されたものである。

十二月十七日議事が終了したので、千家知事は閉會の辭を述べて會を閉ぢた。

議 案 附建議案

- 府第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可 決
- 府第二號議案 明治四十一年度市部郡部ノ分擔及收入割合……………可 決
- 府第三號議案 明治四十一年度東京府歳入歳出豫算書……………修 正
- 府第四號議案 明治四十一年度東京府罹災救助基金歳入歳出  
豫算書……………可 決
- 府第五號議案 明治四十一年度東京府小學校教員恩給基金歳  
入豫算書……………可 決
- 府第六號議案 明治四十一年度東京府小學校教員恩給基金歳入  
歳出豫算書……………可 決
- 府第七號議案 明治四十一年度東京府小學校教員加俸資金歳



|   |    |
|---|----|
| 入歳出豫算書                                  | 可決 |
| 府第八號議案 明治四十一年度東京府教育資金歳入歳出豫算書            | 可決 |
| 府第九號議案 明治四十一年度府立學校基本金歳入豫算書              | 可決 |
| 府第十號議案 明治四十一年度東京府巢鴨病院基本金歳入豫算書           | 可決 |
| 府第十一號議案 明治四十一年度東京府第一中學校戰役紀念獎學金歳入歳出豫算書   | 可決 |
| 府第十二號議案 明治四十一年度東京府普通教育獎勵金歳入歳出豫算書        | 可決 |
| 府第十三號議案 自明治四十一年度至明治四十四年度東京府教育費繼續年期及支出方法 | 修正 |
| 府第十四號議案 不動産賣却ノ件                         | 可決 |
| 府第十五號議案 不動産寄付受領ノ件                       | 可決 |
| 府第十六號議案 東京府名譽職土木委員設置規程                  | 可決 |
| 府第十七號議案 東京府名譽職土木委員費用辨償額及其ノ支給方法          | 可決 |

|                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| 府第十八號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件         | 可決 |
| 府第十九號議案 明治四十年年度市部郡部ノ分擔及收入割合中改正ノ件     | 可決 |
| 府第二十號議案 明治四十年年度東京府歳入歳出追加豫算書          | 可決 |
| 府第二十一號議案 明治四十一年度東京府歳入歳出追加豫算書         | 可決 |
| 府第二十二號議案 明治四十年年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出追加豫算書 | 可決 |
| 府第二十三號議案 不動産寄付受領ノ件                   | 可決 |
| 明治三十九年度東京府歳入歳出決算書                    | 承認 |
| 大博覽會常務委員設置ノ建議案                       | 可決 |
| 荒川中川間開鑿及多摩川河身改修ノ建議案                  | 可決 |

議決摘要

府第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決



ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改ムルモノトス  
市部會議決事件中

警察廳舍修繕費ノ次ニ土木費負擔額但荒川筋橋梁新架費ヲ加フ  
郡部會議決事件中

勸業補助費ノ但書農會ノ下ニ「桑園」ヲ加フ

(原案説明) 市部ニ於テ荒川筋橋梁新架費ノ特別負擔ヲ要スルト郡部ニ於テ桑種苗配付費補助  
ヲ要スルトニ由ル

府第二號議案 明治四十一年度市部郡部ノ分擔及收入割合……可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ明治四十一年度府費ニ關スル市  
部郡部ノ分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

|            |    |        |
|------------|----|--------|
| 警察費        | 郡市 | 一八分二八厘 |
| 警察廳舍建築及修繕費 | 郡市 | 一八分六四厘 |
| 土木費        | 郡市 | 四九分九一厘 |

|               |    |        |
|---------------|----|--------|
| 府會議諸費         | 郡市 | 二七分六四厘 |
| 衛生及病院費        | 郡市 | 一八分六四厘 |
| 教育費           | 郡市 | 二七分九一厘 |
| 教育補助費         | 郡市 | 三六分九一厘 |
| 救育費           | 郡市 | 六九分四厘  |
| 諸達書及揭示諸費      | 郡市 | 六三分八二厘 |
| 勸業費           | 郡市 | 四五分二八厘 |
| 勸業補助費         | 郡市 | 一八分三七厘 |
| 府費取扱費         | 郡市 | 三七分    |
| 府廳舍建築及修繕費     | 郡市 | 二七分一九厘 |
| 衆議院議員及府會議員選舉費 | 郡市 | 二七分六四厘 |
| 府吏員費          | 郡市 | 四五分七三厘 |
| 土地收用費         | 郡市 | 二七分六四厘 |
| 財産費           | 郡市 | 二七分八二厘 |
| 感化院補助費        | 郡市 | 六九分四厘  |







| 科           | 目   | 四十一年度<br>郡市割合 | 割<br>合<br>標<br>準 |
|-------------|-----|---------------|------------------|
| 土地          | 收用費 | 郡市 二七分六厘      | 人口               |
| 財           | 産費  | 郡市 二七分八厘      | 前年度府歳出豫算額        |
| 感化院         | 補助費 | 郡市 六九分四厘      | 救育費ニ準據ス          |
| 市町村傳染病豫防補助費 |     | 郡市 二七分六厘      | 人口               |
| 府           | 社費  | 郡市 二七分六厘      | 同上               |
| 豫           | 備費  | 郡市 二七分六厘      | 同上               |

府費ニ關スル市部郡部ノ收入割合參考表

| 科 | 目    | 四十一年度<br>郡市割合 | 割<br>合<br>標<br>準 |
|---|------|---------------|------------------|
| 財 | 産收入  | 郡市 三六分二厘      | 歳出當該科目ノ割合ニ依ル     |
| 國 | 庫下渡金 | 郡市 一八分三厘      | 同上               |
| 國 | 庫補助金 | 郡市 四六分        | 同上               |
| 雜 | 收入   | 郡市 二七分七厘      | 同上               |

| 財産 | 賣拂代 | 郡市    |
|----|-----|-------|
|    |     | 一八分六厘 |
|    |     | 同上    |

府第三號議案 明治四十一年度東京府歳入歳出豫算書……………修正

歳入

經常部

- 第一款 財産收入 金壹萬八千四百參拾九圓八拾七錢貳厘
- 第一項 不動産收入 金壹萬百六拾九圓八拾七錢貳厘
- 第二項 動産收入 金八千貳百七拾圓
- 第二款 國庫下渡金 金五萬九千九百九拾九圓九錢
- 第一項 警察費下渡金 金五萬九千九百九拾九圓九錢
- 第三款 雜收入 金拾五萬八千七百九拾圓參拾錢
- 第四款 市郡分賦額 金九拾七萬五千四百六拾參圓參拾四錢五厘
- (修正)金九拾八萬五千參百五拾六圓八拾四錢五厘
- 内 市部收入 金六拾九萬貳千貳百八圓參拾貳錢四厘
- (修正)金六拾九萬九千參百六拾貳圓七拾錢九厘



郡部收入 金貳拾八萬參千貳百五拾五圓貳錢壹厘

第一項 賦額 (修正)金貳拾八萬五千九百九拾四圓拾參錢六厘

市郡分賦額 金九拾七萬五千四百六拾參圓參拾四錢五厘

(修正)金九拾八萬五千參百五拾六圓八拾四錢五厘

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百貳拾壹萬貳千六百九拾貳圓六拾錢七厘

(修正)金百貳拾貳萬貳千五百八拾六圓拾錢七厘

臨時部

第一款 國庫補助金 金壹萬七千參百四圓七拾錢

第一項 傳染病豫防費補助金 金貳千九百九圓六拾貳錢

第二項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金貳拾五圓

第三項 蠶病豫防費補助金 金參千四百貳拾五圓

第四項 教育費補助金 金四千參百圓

第五項 癩療養費補助金 金六千六百四拾五圓八錢

第二款 財產賣拂代 金七百圓

第一項 不動產賣拂代 金七百圓

臨時部合計金壹萬八千四圓七拾錢

歲入總計金百貳拾參萬六百九拾七圓參拾錢七厘

(修正)金百貳拾四萬五百九拾圓八拾錢七厘

市部收入 金八拾八萬參千八百參拾四圓參拾八錢四厘

內 (修正)金八拾九萬九百八拾八圓七拾六錢九厘

郡部收入 金參拾四萬六千八百六拾貳圓九拾貳錢參厘

(修正)金參拾四萬九千六百貳圓參錢八厘

歲出

經常部

第一款 警察費 金拾萬八千七百七拾八圓九拾八錢五厘

第一項 俸給及諸給 金四萬四千四百參拾參圓五錢

巡查九十二人月俸拾六圓此金壹萬七千六百六拾四圓百五十人月俸拾圓此金

壹萬八千圓巡查宿料九十二人分月額貳圓五拾錢此金貳千七百六拾圓其他手

當書記給旅費、惠與諸傭給、巡查給助



第二項 廳 費 金參萬千參百四拾五圓九拾參錢五厘

第三項 警察機密費 金參萬參千圓

第二款 警察廳舍修繕費 金五拾圓

第一項 修繕費 金五拾圓

第三款 土木費 金拾壹萬五千六拾九圓拾五錢

第一項 道路橋梁費 金貳千參百四拾圓

第二項 治水堤防費 金拾壹萬貳千七百貳拾九圓拾五錢

第四款 府會議諸費 金壹萬參千五圓參拾錢

第一項 府會議費 金八千四百七拾壹圓參拾錢

第二項 府參事會諸費 金四千五百參拾四圓

第五款 衛生及病院費 金拾四萬五千四百拾八圓九拾八錢六厘

第一項 衛生諸費 金參萬八千九拾五圓九拾錢六厘

免狀及鑑札費、傳染病豫防費、癩豫防費(貳千四百拾貳圓五拾錢)癩療養所費分擔金(壹萬八千貳百拾七圓六拾五錢六厘)

(註) 癩豫防費並癩療養所費分擔金は本年度より新に計上したのである。

第二項 巢鴨病院費 金九萬四千八百九拾六圓七拾貳錢

第三項 檢微費 金五千八百七拾八圓

第四項 屠畜檢査費 金六千四百四拾八圓參拾六錢

第六款 教育費 金參拾四萬五千四百六拾九圓四拾五錢五厘

第一項 師範學校費 金七萬貳千五百六拾六圓六拾參錢五厘

(附帶決議) 師範學校生徒ニ給與スル食物ヲ實地檢査ノ結果未タ充分ナラサル點アリト認ムルヲ以テ時機ヲ計リ食費ヲ相當ニ増額シ給與ヲ改良セラレンコトヲ望ム(調査委員意見 委員長酒井泰)

第二項 女子師範學校費 金參萬五千貳百九拾八圓七拾參錢

第三項 第一中學校費 金貳萬九千八百四拾四圓四拾九錢

第四項 第二中學校費 金壹萬九千五百四拾貳圓拾參錢

第五項 第三中學校費 金貳萬參千八百拾四圓七拾八錢

第六項 第四中學校費 金貳萬貳千參百六拾九圓拾八錢

第七項 第一高等女學校費 金壹萬八千八百八拾四圓八拾八錢

第八項 第二高等女學校費 金五千七百四拾四圓拾八錢



- 第九項 第三高等女學校費 金壹萬八千六百參圓七拾六錢
- 第十項 第四高等女學校費 金壹萬貳千七百九拾貳圓五拾四錢
- 第十項 織染學校費 金壹萬八千六百五拾參圓四拾五錢

(附帶決議) 織染學校ノ如キ特ニ専門ノ智識ヲ要スル學校ニ在テハ宜ク優良ノ教員ヲ選擇シテ之ヲ款遇スルノ必要アリ若シ俸給ノ低キカ爲メ適材ヲ逸スルカ如キコトアルトキハ教育上ノ損害尠カラサルヲ以テ理事者ハ時機ヲ計リ良教員ヲ優待スル目的ノ下ニ俸給額ヲ相當ニ増額セラレンコトヲ望ム(調査委員意見 委員長酒井泰)

- 第十項 工藝學校費 金參萬五百拾壹圓九拾八錢
- 第十項 園藝學校費 金壹萬七千八百八拾五圓六錢
- 第十項 學事諸費 金壹萬七千參百拾六圓五拾錢
- 第十項 小學校教員檢定費 金千貳百六拾壹圓拾六錢
- 第十項 留學生費 金五百九拾圓
- 第十項 退職給與費 金千圓
- 第七款 救育費 金八萬四千參百參圓九拾參錢

(註) 第四高等女學校費並園藝學校費は、本年度より授業開始に付諸經費を計上したのである。

- 第九款 勸業費 金四萬參千百拾五圓貳拾六錢壹厘

- 第九款 勸業費 (修正) 金四萬貳千百拾五圓貳拾六錢壹厘
- 第九款 勸業會費 金七千參百拾貳圓貳拾壹錢
- 第九款 勸業諸費 金壹萬貳千五百參拾九圓四拾八錢五厘
- 第九款 森林經營費 金貳萬八百貳拾貳圓五拾六錢六厘

- 第九款 勸業會費 金七千參百拾貳圓貳拾壹錢
- 第九款 勸業諸費 金壹萬貳千五百參拾九圓四拾八錢五厘
- 第九款 森林經營費 金貳萬八百貳拾貳圓五拾六錢六厘

(修正理由) 森林經營費中製炭作業費七千五百圓ヲ六千五百圓ニ削減スルニ由ル(調査委員 尾清次郎)

- 第十款 府費取扱費 金四萬貳百拾八圓
- 第十款 府費取扱費 金貳千四百四拾壹圓
- 第十款 徵收費 金四百拾八圓
- 第十款 徵收費 金參千八百圓



- 第七款 府廳舍修繕費 金六百圓
  - 第一項 修繕費 金六百圓
- 第三款 衆議院議員選舉費 金貳百貳拾圓
  - 第一項 選舉費 金貳百貳拾圓
- 第三款 府會議員選舉費 金貳百七拾圓
  - 第一項 選舉費 金貳百七拾圓
- 第四款 府吏員費 金五萬四千九百貳拾九圓參拾九錢
  - 第一項 吏員費 金五萬四千九百貳拾九圓參拾九錢
- 第五款 財產費 金九拾圓
  - 第一項 管理費 金九拾圓
- 第六款 土地收用費 金百九拾貳圓
  - 第一項 審查諸費 金百九拾貳圓
- 第七款 府社費 金貳拾圓
  - 第一項 府社費 金貳拾圓
- 第六款 豫備費 金壹萬圓

第一項 豫備費 金壹萬圓  
 經常部合計金九拾參萬四百四拾七圓九拾壹錢七厘  
 (修正)金九拾貳萬九千四百四拾七圓九拾壹錢七厘

臨時部

- 第一款 警察廳舍建築費 金四萬千七百六拾八圓七拾五錢
  - 第一項 建築費 金四萬千七百六拾八圓七拾五錢
- 第二款 土木費 金五萬貳千六拾四圓
  - 第一項 治水堤防費 金五萬貳千六拾四圓
- 第三款 衛生及病院費 金六拾八圓
  - 第一項 巢鴨病院費 金六拾八圓
- 第四款 教育費 金四千六百六拾九圓四拾七錢
  - 第一項 師範學校費 金四千八百八拾五圓貳拾七錢
  - 第二項 中學校費 金九拾圓
  - 第三項 高等女學校費 金百九拾四圓貳拾錢
  - 第四項 織染學校費 金參百圓



第五款 市町村傳染病豫防補助費 金百五拾圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金百五拾圓

第六款 教育補助費 金四萬千九百五拾六圓六拾七錢

第一項 教育補助費 金四萬千九百五拾六圓六拾七錢

東京府教育會補助千圓、日本體育會補助參百圓、實業學校補助貳千五百圓、市町村立小學校教育費補助參萬八千五百五拾六圓六拾七錢

第七款 勸業補助費 金五千五百圓

第一項 勸業補助費 金五千五百圓

東京勸業協會補助參千圓、式根島避難所設置補助貳千五百圓

第八款 感化院補助費 金五千圓

第一項 感化院補助費 金五千圓

代用感化院補助

第九款 教育費本年度支出額 金拾四萬九千七拾貳圓五拾錢

(修正)金拾五萬九千九百六拾六圓

第一項 工藝學校費本年度支出額 金貳萬六千八百拾五圓貳拾五錢

第二項 高等女學校費本年度支出額 金壹萬九千參百四拾貳圓貳拾五錢

第三項 園藝學校費本年度支出額 金參萬六千九百拾五圓

第四項 師範學校費本年度支出額 金六萬六千圓

(修正)金七萬六千八百九拾參圓五拾錢

(修正理由) 府第十三號議案ノ修正ニ伴フニ由ル (調査委員意見 委員長酒井泰)

臨時部合計金參拾萬貳百四拾九圓參拾九錢

(修正)金參拾壹萬千四百貳圓八拾九錢

歲出總計金百貳拾參萬六千九百九拾七圓參拾錢七厘

(修正)金百貳拾四萬五百九拾圓八拾錢七厘

市部負擔 金八拾八萬參千八百參拾四圓參拾八錢四厘

(修正)金八拾九萬九千八百八拾八圓七拾六錢九厘

內 郡部負擔 金參拾四萬六千八百六拾貳圓九拾貳錢參厘

(修正)金參拾四萬九千六百貳圓參錢八厘

府第四號議案 明治四十一年度東京府罹災救助基金歲入



歲出豫算書……………可決

府第五號議案 明治四十一年度東京府小學校教員恩給基

金歲入豫算書……………可決

府第六號議案 明治四十一年度東京府小學校教員恩給金

歲入歲出豫算書……………可決

府第七號議案 明治四十一年度東京府小學校教員加俸資

金歲入歲出豫算書……………可決

府第八號議案 明治四十一年度東京府教育資金歲入歲出

豫算書……………可決

府第九號議案 明治四十一年度府立學校基本金歲入豫算書……………可決

府第十號議案 明治四十一年度東京府巢鴨病院基本金歲

入豫算書……………可決

府第十一號議案 明治四十一年度東京府第一中學校戰役紀

念獎學金歲入歲出豫算書……………可決

府第十二號議案 明治四十一年度東京府普通教育獎勵金歲

入歲出豫算書……………可決

府第十三號議案 自明治四十一年度至明治四十四年度東京府教育費繼續年期及支

出方法……………修正

教育費中建築費

一金參拾貳萬四千九百七拾圓六拾錢  
(修正)金參拾萬九千九百七拾圓六拾錢

金六萬六千圓 明治四十一年度支出額

(修正)金七萬六千八百九拾參圓五拾錢 明治四十一年度支出額

金拾貳萬八千四百八拾壹圓六拾錢 明治四十二年度支出額

(修正)金拾萬九千七百九拾六圓拾錢 明治四十三年度支出額

金八萬九千五百壹圓 明治四十三年度支出額



(修正)金六萬八千六百五拾四圓

金四萬九百八拾八圓

(修正)金五萬四千六百貳拾七圓

明治四十四年度支出額

本府小學校教員ノ養成機關トシテハ既ニ男女兩師範學校ノ設アリト雖モ府下人口ノ増殖ト就學歩合ノ増進ニ伴ヒ需要供給ノ懸隔益甚シカラントスル傾向アリ殊ニ義務教育年限ノ延長ニ際シ其ノ實行上最モ困難ヲ感スルハ教員ノ不足ト其ノ適任者ヲ得難キトニアリ故ニ此際男子師範學校ノ増設ヲ要スルヲ以テ之ヲ四ケ年ノ繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セムトス

(附帶決議) 師範學校ノ敷地ニ付テハ適當ノ場所ヲ選定設置セラレンコトヲ望ム

(調査委員意見  
委員長酒井泰)

(修正理由) 明治四十一年度支出額中敷地購入費六萬圓ハ一坪當四圓ノ豫算ナルモ未タ敷地ノ位置モ確定セサル今日ニ於テハ先以テ見積額ヲ一坪參圓ニ低下シ四萬五千圓トスルヲ適當ト認メタルト師範教育ハ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルニ依リ可及的速ニ開校ヲ欲シ建築設計ノ順序ヲ彼此變更シタル結果各年度支出額ヲ修正スルノ必要アリシニ由ル(調査委員意見  
委員長酒井泰)

府第十四號議案 不動産賣却ノ件……………可決

東京市芝區愛宕町三丁目六番地

一 巡查教習所建物

木造瓦葺二階家 七十坪

同 平家 百四十七坪

外門板扉廊下

此豫定價格七百圓

右賣却スルモノトス

(原案説明) 巡查教習所ハ改築ノ見込ナルヲ以テ不用ニ屬スル建物ヲ賣却セントスルニ由ル

府第十五號議案 不動産寄附受領ノ件……………可決

東京府西多摩郡ノ内ニ於テ府ノ指定シタル場所

一 土地 八千坪

右西多摩郡小澤芳重外三十八名ヨリ寄付

右府立農學校用トシテ寄付ノ儀前記ノ通出願ニ付受領スルモノトス

(原案説明) 來ル明治四十二年度ヨリ三ヶ年繼續ニ依リ府立農學校建設ノ計畫ヲ以テ之ヲ採納





府第十六號議案 東京府名譽職土木委員設置規程……………可決

府縣制第七十七條ニ依リ土木委員設置規程左ノ通定ムルモノトス

第一條 明治四十年八月ノ水害ニ因ル土木復舊事業善後處分ニ關シ調査ノ爲臨時ニ土木委員七名ヲ置ク

第二條 委員ハ東京府會ニ於テ其ノ議員中ヨリ選舉ス  
東京府會ハ七名ノ補充員ヲ選舉ス

委員中闕員アルトキハ補充員ノ中ニ就キ府知事之ヲ補闕ス其ノ順序ハ投票數ニ依リ投票同數ナルトキハ年長者ヲ取り同年月日ナルトキハ抽籤ニ依ル

第三條 委員ノ任期ハ明治四十一年十月三十一日迄トス  
(原案説明) 本年ノ大水害ニ起因スル土木復舊事業ハ多大ニシテ其ノ施工至難ナルヲ以テ之カ善後處分ノ調査ニ當ラシメントス

府第十七號議案 東京府名譽職土木委員費用辨償額及其ノ支給方法……………可決

府縣制第九十四條ニ依リ土木委員費用辨償額及其ノ支給方法左ノ通定ムルモノトス

第一條 委員ニハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償トシテ月額手当ヲ給シ尙旅行ノ場合ニ於テハ旅費ヲ支給ス  
月額手当及旅費ハ別表ニ依ル

(別表)

|      |                            |                            |                            |                           |  |
|------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|--|
| 月額手当 | 旅                          |                            |                            | 費                         |  |
|      | 汽車賃<br><small>一哩ニ付</small> | 車馬賃<br><small>一里ニ付</small> | 宿泊料<br><small>一夜ニ付</small> | 日當<br><small>一日ニ付</small> |  |
| 貳拾五圓 | 五錢                         | 貳拾錢                        | 貳圓                         | 五拾錢                       |  |

(原案説明) 土木委員ノ設置ニ伴ヒ費用辨償額ノ支給ヲ要スルニ由ル

府第十八號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決



ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改ムルモノトス  
郡部會議決事件中

行政執行費ノ次ニ「府債費但郡部ニ關スルモノ」ヲ加フ

(原案説明) 臨時土木費負擔支出ニ充ツル爲郡部經濟ニ於テ起債ヲ要スルニ由ル

府第十九號議案 明治四十年度市部郡部ノ分擔及收入割合

中改正ノ件……………可 決

明治三十二年勅令第二百八十五號ニ依リ明治四十年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入ノ割合中左ノ通改ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合中左ノ二項ヲ加フ

土木費ノ次ニ

土木補助費

市郡 五分一厘  
四分九厘

衛生及病院費ノ次ニ

衛生及病院費ノ内癩療養所費分擔金

市郡 七分六厘  
二分四厘

市部郡部收入ノ割合中左ノ二項ヲ加フ

國庫補助金ノ次ニ

國庫補助金ノ内癩療養費補助金

市郡 七分六厘  
二分四厘

國庫補助金ノ内土木費補助金

市郡 五分一厘  
四分九厘

(原案説明) 歳入出豫算ノ追加ニ伴ヒ分擔及收入ノ割合ヲ定ムルノ必要アルニ由ル

府第二十號議案 明治四十年度東京府歳入歳出追加豫算書……………可 決

歳入

經常部

第四款 市郡分賦額 金六拾貳萬參百拾壹圓八拾錢

内 市部收入 金參拾貳萬七千貳百拾參圓拾壹錢四厘

郡部收入 金貳拾九萬參千九拾八圓六拾八錢六厘

第一項 市郡分賦額 金六拾貳萬參百拾壹圓八拾錢

經常部合計金六拾貳萬參百拾壹圓八拾錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金拾八萬六千九百六圓七拾四錢



第一項 傳染病豫防費補助金 金千七百拾圓拾五錢

第二項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金百七拾五圓

第五項 癩療養費補助金 金九千八百五拾九圓九拾壹錢

第六項 土木費補助金 金拾七萬五千百六拾壹圓六拾八錢

臨時部合計金拾八萬六千九百六圓七拾四錢

歲入總計金八拾萬七千貳百拾八圓五拾四錢

內 市部 收入 金四拾貳萬四千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

郡部 收入 金參拾八萬貳千參百參拾壹圓拾壹錢九厘

歲出

經常部

第五款 衛生及病院費 金貳萬九千九百八拾圓七拾參錢九厘

第一項 衛生諸費 金貳萬九千九百八拾圓七拾參錢九厘

傳染病(虎列拉)豫防費壹萬貳百六拾圓九拾錢、癩療養所費(創設費)分擔金壹萬九千七百拾九圓八拾參錢九厘

第六款 教育費 金參千五百四拾貳圓貳拾參錢

第六項 學事諸費 金貳千四百貳拾四圓五拾錢

小學校教員恩給金補充費

第十項 園藝學校費 金千百拾七圓七拾參錢

四十一年四月ヨリ開校ニ付準備諸費其他

第七款 府吏員費 金五千八百八圓六拾五錢

第一項 吏員費 金參千六百拾壹圓拾五錢

水害復舊工事施行ノ爲増員

第二項 委員費 金千五百七拾七圓五拾錢

土木委員設置ニ伴フ諸費

經常部合計金參萬八千七百拾壹圓六拾壹錢九厘

臨時部

第一款 土木費 金七拾四萬八千八百五拾四圓四拾四錢壹厘

第一項 治水堤防費 金七拾四萬八千八百五拾四圓四拾四錢壹厘

非常水害ノ爲メ流亡缺潰シタル河岸堤防復舊工事費

第三款 教育費 金壹萬五千參百貳拾四圓八拾錢



第一項 園藝學校費 金壹萬五千參百貳拾四圓八拾錢  
實習地購入費

第五款 市町村傳染病豫防補助費 金千五拾圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金千五拾圓

第二款 土木補助費 金參千貳百七拾七圓六拾八錢

第一項 塚樋費補助 金參千貳百七拾七圓六拾八錢

臨時部合計金七拾六萬八千五百六圓九拾貳錢壹厘

歲出總計金八拾萬七千貳百拾八圓五拾四錢

市部負擔 金四拾貳萬四千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

內 郡部負擔 金參拾八萬貳千參百參拾壹圓拾壹錢九厘

府第二十一號議案 明治四十一年度東京府歲入歲出追加豫算書……可決

歲入

經常部

第四款 市郡分賦額 金參千參百七拾五圓

第一項 市郡分賦額 金參千參百七拾五圓

經常部合計金參千參百七拾五圓

歲入總計金參千參百七拾五圓

歲出

經常部

第五款 府吏員費 金參千參百七拾五圓

第二款 委員費 金參千參百七拾五圓

經常部合計金參千參百七拾五圓

歲出總計金參千參百七拾五圓

府第二十二號議案 明治四十年度東京府小學校教員恩給金歲

入歲出追加豫算書……可決

府第二十三號議案 不動產寄付受領ノ件……可決

南多摩郡八王子町上野四番地



一木造亞鉛板葺二階建 建坪二十七坪 一棟

此見積價格八百拾圓

一木造鐵葉葺平家建 建坪三十坪 一棟

此見積價格六百圓

一木造鐵葉葺便所 二ヶ所

此見積價格百五拾圓

一附屬廊下 建坪九坪

此見積價格百八拾圓

一門及外圍

此見積價格百圓

合計見積價格千八百四拾圓

右南多摩郡元八王子村横川榎子ヨリ寄付出願ニ付之ヲ受領スルモノトス

(原案説明) 本案提出ヲ要スルハ南多摩郡元八王子村横川榎子ヨリ本府教育事業用トシテ寄付出願ニ付之ヲ受領セントスルニ由ル

明治三十九年度東京府歳入歳出決算書……………承認

大博覽會常務委員設置ノ建議案……………可決

(建議の大要) 我國戰後經營の第一着手として、來る明治四十五年を期して日本大博覽會を開設せらるゝこととなつた。本府はこの大博覽會の開設地であり又我邦の首都たる關係上、種々施設計畫する所がなければならぬ。例へば、東京府別館出品協會協賛會の設立等は其の主なる計畫事業である。此等事業の經營を全からしむるが爲めに、大博覽會に關する常務委員を設け、府會に於て之を選擧し、其の任務に膺らしむることとし、以て大博覽會開設の趣旨に副ひ、併せて實業の振興に資せんとするものである。冀くはこの意見を採納し、適當の措置を採られたいと知事に建議するので、案は全會一致を以て可決した(議員五木田治郎吉外四十四名發議(附記) この大博覽會の開設は、其の後政府に於て其の計畫を中止せられた。

荒川中川間開鑿及多摩川河身改修ノ建議案……………可決

(建議の大要) 府下に於ける水害は毎年繼續的に繰返され、しかも漸次被害の程度が高まる實況である。殊に本年の如きは、其の被害の區域が南足立・北豊島の二郡



及下谷淺草本所深川の四區に涉り流失浸水合せて七萬二千戸を算するに至り、慘害實に驚くべきものがある。而して被害の原因は、荒川下流から隅田川に亘る一帯に於て、疏水の便なきに基くものと確信するが故に、理事者は調査を遂げ、適當に措置せられたい。又、多摩川は東京市水道の水源たると同時に、一府二縣に亘る耕地灌溉の用水である。然るに、河流が屈曲の多いのと近年砂利を亂掘する爲め、從來折角施行した治水工事も其の效力を殺がれ、河身は年々低落し、河口は歲々の出水に埋没せられ、頗る寒心すべき状態に立至つたことは、本年水害の結果に徴して疑を容れぬ。理事者は篤と調査の上、河身改修の計畫を樹て、慘害を防止するの措置を採られたいと、知事に意見書を呈出するので、建議案は多數を以て可決した議員佐伯幸四郎外四十三名發議)

通常市部會

本會は明治四十年十一月二十八日午後二時に開議し、會議三日間に涉り、十二月十七日午後四時議事終了散會した。

長谷川議長は、會議の同意を得て、袴田瀧三郎、照内芳次郎を會議録署名議員に選

定した。

議案

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 第一號議案部 | 明治四十一年度東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………可決 |
| 第二號議案部 | 明治四十一年度東京府市部歲入豫算書……………修正      |
| 第三號議案部 | 明治四十一年度東京府市部請願巡查費徵收額……………可決   |
| 第四號議案部 | 明治四十一年度市部府立學校基本金歲入豫算書……………可決  |
| 第五號議案部 | 明治四十一年度東京府市部學資金歲入豫算書……………可決   |
| 第六號議案部 | 明治四十一年度東京府市部積立金歲入豫算書……………可決   |
| 第七號議案部 | 明治四十年東京府市部歲入豫算書……………可決        |
| 第八號議案部 | 明治四十年東京府市部追加豫算書……………可決        |
| 第九號議案部 | 明治四十一年度東京府市部追加豫算書……………可決      |
| 第十號議案部 | 明治四十一年度東京府市部追加豫算書……………承認      |

議決摘要

第一號議案部 明治四十一年度東京府市部營業稅雜種稅課目

第五章 府會の行動 明治四十年の府會



課額……………可決

營業稅

一 商業

第一類

物品販賣業(賣藥請賣及行商ヲ除ク)・金錢貸付業・物品貸付業・兩替業・運送業・運河業・土木請負業・勞力請負業・旅人宿業・木賃宿業・下宿業・仲立業・仲買業・代辦業

個數一個ニ付 年稅 金貳錢

第二類 賣藥請賣及行商

請賣藥方一方ニ付 同 金四錢  
行商鑑札一枚ニ付 同 金拾錢

一 工業

製造業・印刷業・寫真業

個數一個ニ付 年稅 金貳錢

雜種稅

一 料理屋

個數一個ニ付 年稅 金貳錢五厘

一 待合茶屋

個數一個ニ付 年稅 金貳錢五厘

一 遊船宿

個數一個ニ付 年稅 金貳錢五厘

一 芝居茶屋

個數一個ニ付 日稅 金八毛

一 飲食店

個數一個ニ付 年稅 金貳錢五厘

一 湯屋

個數一個ニ付 年稅 金參錢

一 理髮人

年稅 金壹圓

但シ從業者一人ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ

一 雇人請宿

年稅 金壹圓

一 遊藝師匠 淨瑠璃・唱歌・舞・踊・音曲其ノ他ノ遊藝ヲ教授スル者

月稅 金壹圓

二 等

同 金五拾錢

三 等

同 金拾錢

一 遊藝稼人 人寄席・劇場・觀物興行所又ハ集會ノ場所ニ出テ軍談・講釋・昔話・聲色・淨瑠璃・唱歌・舞・踊・音曲・音樂・狂言・手品・輕業・寫シ繪・獨樂廻シ・早變リ・八人藝・人形遣ヒ・曲馬其ノ他ノ遊藝ヲ爲スコトヲ業トスル者

年稅 金貳拾圓

二 等

同 金拾圓

三 等

同 金貳圓

一 相撲

年稅 金貳拾圓



|       |    |        |
|-------|----|--------|
| 二 等   | 年稅 | 金拾圓    |
| 三 等   | 同  | 金五圓    |
| 四 等   | 同  | 金壹圓五拾錢 |
| 一 俳 優 | 年稅 | 金百八拾圓  |
| 一 等   | 同  | 金百四拾圓  |
| 二 等   | 同  | 金百圓    |
| 三 等   | 同  | 金六拾圓   |
| 四 等   | 同  | 金參拾圓   |
| 五 等   | 同  | 金拾五圓   |
| 六 等   | 同  | 金七圓    |
| 七 等   | 同  | 金參圓    |
| 八 等   | 同  | 金壹圓五拾錢 |
| 九 等   | 同  | 同      |
| 一 幫 間 | 月稅 | 金貳圓    |
| 一 等   | 同  | 同      |

同 金壹圓

二 等

一 藝 妓

一 等

二 等

一 市 場

小藝妓 俗ニオ酌ト稱シ三味線ヲ携ヘサルモノヲ云フ

神田區多町外四ヶ町神田青物市場

同區岩本町六番地古着市場

同區岩本町三十番地古着市場

日本橋區日本橋組魚市場

同區日本橋四日市組魚市場

同區濱町青物市場

京橋區大根川岸青物市場

同區靈岸島東京和洋船具商糶糶市場

年稅 金五百圓

同 金貳百五拾圓

同 金參拾五圓

同 金千八百圓

同 金五百圓

同 金六拾圓

同 金百七拾圓

同 金拾圓



|             |            |         |
|-------------|------------|---------|
| 芝區芝金杉組魚市場   | 年稅         | 金六拾圓    |
| 同區本芝組魚市場    | 同          | 金參拾五圓   |
| 本郷區駒込青物市場   | 同          | 金七拾五圓   |
| 本所區一ツ目青物市場  | 同          | 金四拾圓    |
| 同區四ツ目青物市場   | 同          | 金四拾圓    |
| 同區中ノ郷瓦町青物市場 | 同          | 金貳拾五圓   |
| 同區中ノ郷竹町青物市場 | 同          | 金拾五圓    |
| 深川區深川魚市場    | 同          | 金百七拾圓   |
| 同區東京米穀問屋市場  | 同          | 金拾圓     |
| 同區東京廻米問屋市場  | 同          | 金九拾圓    |
| 一演劇         |            |         |
| 大劇場         | 建坪二百坪以上ノモノ | 上リ高百分ノ四 |
| 小劇場         | 建坪二百坪未滿ノモノ | 同 百分ノ三五 |
| 一興行         |            |         |
| 建物アルモノ      |            | 日稅 金六厘  |
| 興行中建物一坪ニ付   |            |         |

建物ナキモノ

上リ高百分ノ七  
上リ高百分ノ七

一遊覽所

一遊技所

王突臺一個ニ付 月稅 金壹圓五拾錢

王突場

球戲場 玉轉シ類シ楊弓場大弓場半弓場投扇競

場室內射的場吹矢場弩弓場其ノ他ノ遊戲場 同 金八拾錢

一人寄席 個數一個ニ付 年稅 金參錢

一船

日本形船積石五十石未滿舩漁船小廻船(積石ニ拘ハラス)

長自舩梁至舩梁 二間未滿 年稅 金四拾錢

同 二間 同 金六拾錢

但シ二間以上一間ヲ加フル毎ニ金貳拾錢ヲ増加ス一間未滿ヲ加フルト  
キ亦同シ

遊船

長自舩梁至舩梁 三間未滿

同 金壹圓



長自軸梁三間

年稅 金壹圓五拾錢

但シ三間以上一間ヲ加フル毎ニ金五拾錢ヲ増加ス一間未滿ヲ加フルト  
キ亦同シ

一車

自用馬車

二匹立以上

年稅 金參拾圓

一匹立

同 金貳拾圓

營業馬車

二匹立以上

同 金拾貳圓

一匹立

同 金八圓

荷積牛馬車

同 金六圓

自用人力車

二人乘

乘臺ノ横幅内法  
二尺以上ノモノ

同 金五圓

一人乘

乘臺ノ横幅内法  
二尺未滿ノモノ

同 金參圓

營業人力車

同 金貳拾錢

荷積大車

荷臺ノ平方尺積十  
四坪以上ノモノ

同 金貳圓

荷積小車

荷臺ノ平方尺積十  
四坪未滿ノモノ

同 金壹圓貳拾錢

一水車

紡績製作其他機關ヲ運轉スルモノ

一力馬ニ付 年稅 金貳圓

挽白

一個ニ付 同 金壹圓五拾錢

擣白

同 同 金五拾錢

同 三斗張未滿

同 同 金參拾錢

一屠畜

牛

一頭ニ付 稅 金五拾錢

馬

同 同 金四拾錢

犢羊豚

同 同 金拾錢

一採藻

海苔採

一等

海面百坪ニ付 年稅 金七拾錢

二等

同 同 金五拾五錢



|  |        |        |       |
|--|--------|--------|-------|
| 三等   | 海面百坪ニ付 | 年稅     | 金四拾錢  |
| 四等   | 同      | 同      | 金參拾錢  |
| 五等   | 同      | 同      | 金貳拾錢  |
| 一自轉車   |        | 年稅     | 金貳圓   |
| 一自動車   |        | 年稅     | 金參拾圓  |
| 一日本形船  |        |        |       |
| 積石五十石以上                                      | 一石ニ付   | 年稅     | 金貳錢五厘 |
| 一西洋形船  |        |        |       |
| 蒸汽船機械船及客船                                    |        |        |       |
| <small>河川ヲ航行スルモノニシテ乘客定員四十人以上ノ客船及其ノ曳船</small> | 一噸ニ付   | 年稅     | 金壹圓   |
| 以上ニ該當セサル船                                    |        | 同      | 金貳拾錢  |
| 風帆船及其ノ他ノ船                                    |        | 同      | 金拾五錢  |
| 一狩獵  |        | 本稅十分ノ二 |       |
| 一畜犬  | 一頭ニ付   | 年稅     | 金壹圓   |

市部 第二號議案 明治四十一年度東京府市部歲入歲出豫算書………修正

歲入

經常部

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 第一款 地租     | 割 | 金拾參萬四千八百拾壹圓五拾錢  |
| 第一項 地租     | 割 | 金拾參萬四千八百拾壹圓五拾錢<br><small>(地租壹圓ニ付五拾錢)</small>  |
| 第二款 營業稅    | 稅 | 金六萬九千貳百四拾六圓八錢   |
| 第一項 商業稅    | 稅 | 金四萬六千八百九拾參圓六拾貳錢   |
| 第二項 工業稅    | 稅 | 金貳萬貳千參百五拾貳圓四拾六錢   |
| 第三款 雜種稅    | 稅 | 金參拾七萬七千七百九拾五圓參拾八錢   |
| 第四款 營業稅附加稅 | 稅 | 金貳拾八萬六千五百五拾八圓六拾錢  |
| 第一項 營業稅附加稅 | 稅 | 金貳拾八萬六千五百五拾八圓六拾錢<br><small>(國稅額ノ十分ノ二)</small>   |
| 第五款 家屋稅    | 稅 | 金六拾壹萬貳千七百拾圓八拾六錢   |
| 第一項 家屋稅    | 稅 | 金六拾貳萬六千六百參拾六圓拾壹錢<br><small>(修正) 金六拾壹萬貳千七百拾圓八拾六錢<br/>(一個ニ付四錢四厘)<br/>(一個ニ付四錢五厘)</small> |

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル



第六款 財產收入 金千圓

第一項 動產收入 金千圓

第七款 國庫下渡金 金五拾參萬貳千六百八拾圓參拾七錢

第一項 警察費下渡金 金五拾參萬貳千六百八拾圓參拾七錢

第八款 雜收入 金拾四萬四千五百五拾圓六拾壹錢參厘

第九款 市郡連帶市部收入額 金拾九萬千六百貳拾六圓六錢

第一項 市郡連帶市部收入額 金拾九萬千六百貳拾六圓六錢

經常部合計金貳百參拾五萬五百七拾九圓四拾六錢參厘

(修正)金貳百參拾六萬四千五百四圓七拾壹錢參厘

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金九千百貳拾壹圓六拾六錢

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金千六百六拾六圓六拾六錢

第二款 教育費補助金 金貳千五百圓

第三項 警察費補助金 金四千八百六拾六圓

第四項 警察廳舎建築修繕費補助金 金八拾九圓

臨時部合計金壹萬百貳拾壹圓六拾六錢

歲入總計金貳百參拾六萬七千七百壹圓拾貳錢參厘

(修正)金貳百參拾七萬四千六百貳拾六圓參拾七錢參厘

歲出

經常部

第一款 警察費 金百參拾六萬五千參百五圓拾八錢貳厘

第一項 俸給及諸給 金百壹萬九拾貳圓六拾錢

巡查三千四百七十一人月俸拾六圓此金六拾六萬六千四百參拾貳圓技手十一

人月俸參拾五圓此金四千六百貳拾圓書記百八十四人月俸拾四圓此金參萬九

百拾貳圓巡查宿料三千四百七十一人分月額貳圓五拾錢警部消防士機關士宿

料百二十二分月額五圓此金拾壹萬四千四百五拾圓諸傭給(消防)拾萬貳千參百

七圓參拾五錢其他手當旅費惠與巡查給助

(附帶決議) 設置豫定ノ警察分署七十個所ニ配屬セシムヘキ警部ヲ得難キニ付



三十五分署丈ニ配置シ殘數ノ三十五個所ハ之ヲ警察支署トシ巡查部長ヲ支署長トシテ配置セラレンコトヲ要望ス(調査委員意見 委員長杉原榮三郎)

第二項 廳 費 金參拾五萬五千貳百拾貳圓五拾八錢貳厘

第二款 警察廳舍修繕費 金壹萬參千七拾七圓四拾四錢

第一項 修繕費 金壹萬參千七拾七圓四拾四錢

第三款 教 育 費 金壹萬八千七拾圓八拾貳錢

第一項 職 工 學 校 費 金壹萬八千七拾圓八拾貳錢

第四款 府 費 取 扱 費 金壹萬五千四百拾圓

第一項 徵 收 費 金壹萬五千四百拾圓

第五款 府 吏 員 費 金貳千九百參拾參圓

第一項 吏 員 費 金貳千九百參拾參圓

第六款 財 產 費 金五圓

第一項 管 理 費 金五圓

第七款 府 社 費 金七拾圓

第一項 府 社 費 金七拾圓

第八款 豫 備 費 金五千圓

第一項 豫 備 費 金五千圓

第九款 市郡分賦市部負擔額 金八拾八萬參千八百參拾四圓參拾八錢四厘

(修正)金八拾九萬九千八百八拾八圓七拾六錢九厘

第一項 市郡分賦市部負擔額 金八拾八萬參千八百參拾四圓參拾八錢四厘

(修正)金八拾九萬九千八百八拾八圓七拾六錢九厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金貳百參拾萬參千七百五圓八拾貳錢六厘

(修正)金貳百參拾壹萬八百六拾圓貳拾壹錢壹厘

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金壹萬六百五拾貳圓五拾九錢

第一項 建 築 費 金壹萬六百五拾貳圓五拾九錢

第二款 教 育 費 金貳千百圓

第一項 職 工 學 校 費 金貳千百圓

第三款 市町村傳染病豫防補助費 金壹萬圓



第一項 市町村傳染病豫防補助費 金壹萬圓

第四款 警察廳會建築修繕費 金貳萬參千九百九拾圓七拾貳錢

第一項 本年度支出額 金貳萬參千九百九拾圓七拾貳錢

第一目 警察署、分署、支署、(修正追加)交番所間電話架設費本年度支出額 金貳萬參千九百九拾圓七拾貳錢

(修正理由) 豫定ノ分署七十個所中半數ノ三十五個所ハ支署ト爲スニ由ル(調査委員意見) 委員長杉原榮三郎

第五款 土木費特別負擔額 金六千圓

第一項 土木費特別負擔額 金六千圓

(原案説明) 本年度ニ於テ此ノ豫算ヲ設クルハ郡部經濟ヲ以テ荒川筋橋梁新架ヲ要スルノ處該橋ハ市部ニ對シ多大ノ關係ヲ有スルニ付其ノ架設費ノ内ヲ特ニ負擔セントスルニ由ル

臨時部合計金五萬貳千七百四拾參圓參拾壹錢

歲出總計金貳百參拾五萬六千四百四拾九圓拾參錢六厘

(修正)金貳百參拾六萬參千六百參圓五拾貳錢壹厘

市 第三號議案部 明治四十一年度東京府市部請願巡查費徵收額……可 決

一金貳拾六圓五拾錢 市部巡查一人一ヶ月分

市 第四號議案部 明治四十一年度市部府立學校基本金歲入豫算書……可 決

市 第五號議案部 明治四十一年度東京府市部學資金歲入豫算書……可 決

市 第六號議案部 明治四十一年度東京府市部積立金歲入豫算書……可 決

市 第七號議案部 明治四十年年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……可 決

歲入

經常部

第一款 地 租 割 金五萬參千九百貳拾四圓六拾錢

第一項 地 租 割 金五萬參千九百貳拾四圓六拾錢 (地租壹圓ニ付貳拾錢)

第六款 家 屋 稅 金參拾萬六千參百五拾五圓四拾參錢

第一項 家 屋 稅 金參拾萬六千參百五拾五圓四拾參錢 (壹個ニ付貳錢貳厘)

第十款 市郡連帶市部收入額 金九萬七千六百七拾四圓參拾錢七厘

第一項 市郡連帶市部收入額 金九萬七千六百七拾四圓參拾錢七厘

經常部合計金四拾五萬七千九百五拾四圓參拾參錢七厘



臨時部

第二款 國庫補助金 金四千五百圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金四千五百圓

臨時部合計金四千五百圓

歲入總計金四拾六萬貳千四百五拾四圓參拾參錢七厘

歲出

經常部

第九款 市郡分賦市部負擔額 金四拾貳萬四千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

第一項 市郡分賦市部負擔額 金四拾貳萬四千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

經常部合計金四拾貳萬四千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

臨時部

第二款 市町村傳染病豫防補助費 金貳萬七千圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金貳萬七千圓

臨時部合計金貳萬七千圓

歲出總計金四拾五萬千八百八拾七圓四拾貳錢壹厘

市部 第八號議案

明治四十年度市部追加地租割家屋稅賦課方ノ件……可決

明治四十年度東京府市部追加地租割地租壹圓ニ付貳拾錢家屋稅家屋個數一個ノ賦課ニ付テハ市部ニ屬スル府稅賦課規則第一條第十七條第二十條ヲ適用セス地租割ハ明治四十一年一月一日現在ノ地租額ニ依リ納租者ニ家屋稅ハ明治四十一年一月一日ノ現所有建物ヲ標準トシ個數ヲ定メテ其ノ所有者ニ賦課ス

市部 第九號議案

明治四十一年度東京府市部歲出追加豫算書……可決

歲出

經常部

第九款 市郡分賦市部負擔額 金千七百八拾八圓七拾五錢

第一項 市郡分賦市部負擔額 金千七百八拾八圓七拾五錢

經常部合計金千七百八拾八圓七拾五錢

歲出總計金千七百八拾八圓七拾五錢

明治三十九年度東京府市部歲入歲出決算書……承認



通常郡部會

本會は明治四十年十一月二十八日午後二時三十分に開議し、會議三日間に涉り、十二月十七日午後四時八分散會した。

松井議長は、會議の同意を得て、佐伯幸四郎、小澤芳重を會議録署名議員に選定した。

議案 附諮問案

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 第一號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決  |
| 第二號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部歲入歲出豫算書……………修正     |
| 第三號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可決    |
| 第四號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部恩賜金歲入歲出豫算書……………可決  |
| 第五號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部救恤資金歲入歲出豫算書……………可決 |
| 第六號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部學資金歲入豫算書……………可決    |
| 第七號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部衛生資金歲入豫算書……………可決   |
| 第八號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部積立金歲入豫算書……………可決    |

|         |                                    |
|---------|------------------------------------|
| 第九號議案部  | 明治四十年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可決        |
| 第十號議案部  | 起債及利息ノ定率並償還方法……………可決               |
| 第十一號議案部 | 明治四十年度東京府郡部追加地租割家屋稅戶數割賦課方ノ件……………可決 |
| 第十二號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可決       |
| 諮問第一號部  | 府費支辨道ニ編入及變更ノ件……………答申議決             |
|         | 明治三十九年度東京府郡部歲入歲出決算書……………承認         |

議決摘要

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 第一號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決 |
|--------|-------------------------------|

營業稅

一 商業

第一類

物品販賣業(賣藥請賣及行商ヲ除ク)

年稅 賣上收入金高千分ノ五

第二類

金錢貸付業  
物品貸付業  
兩替業

同 營業收入金高百分ノ五

第五章 府會の行動 明治四十年の府會



|     |                      |    |            |
|-----|----------------------|----|------------|
| 第三類 | 運送業                  | 年稅 | 營業收入金高千分ノ四 |
| 第四類 | 土木請負業<br>勞力請負業       | 同  | 請負收入金高千分ノ四 |
| 第五類 | 旅人宿業<br>木賃宿業<br>下宿業  | 同  | 營業收入金高千分ノ五 |
| 第六類 | 仲立業<br>仲買業<br>代辦業    | 同  | 報償收入金高百分ノ二 |
| 第七類 | 賣藥請賣及行商              | 同  | 金四錢        |
| 一工業 | 請賣藥方一方ニ付<br>行商鑑札一枚ニ付 | 同  | 金拾錢        |

製造業印刷業寫真業

雜種稅

|       |    |            |
|-------|----|------------|
| 一料理屋  | 年稅 | 營業收入金高千分ノ五 |
| 一待合茶屋 | 年稅 | 營業收入金高千分ノ六 |
| 一遊船宿  | 年稅 | 營業收入金高千分ノ六 |
| 一芝居茶屋 | 年稅 | 營業收入金高千分ノ六 |
| 一飲食店  | 年稅 | 營業收入金高千分ノ六 |
| 一湯屋   | 年稅 | 營業收入金高千分ノ六 |

鰻屋・鮎屋・肉店・煮賣屋・銘酒屋・蕎麥屋・饅頭屋・汁粉屋・氷水屋・飯屋ノ類

一理髮人

但シ從業者一人ヲ増ス毎ニ金五拾錢ヲ加フ

一雇人請宿

年稅 金壹圓  
年稅 報償收入金高百分ノ二

一遊藝師匠

淨瑠璃・唱歌・舞・音曲  
其他ノ遊藝ヲ教授スル者

荏原郡品川町・豐多摩郡内藤新宿町・北豐島郡南千住町・同郡王子村・南足立郡千住町・南葛飾郡隅田村・同郡寺島村・南多摩郡八王子町

一 等 月稅 金五拾錢  
二 等 同 金貳拾錢

一遊藝稼人

人寄席・劇場・觀物興行所又ハ集會ノ場所ニ出テ軍談・講釋・昔話・聲色・淨瑠璃・唱歌・舞・音曲・音樂・狂言・手品・輕業・寫シ繪・獨樂廻シ・早變リ・八人藝・人形・遣ヒ・曲馬・其他ノ遊藝ヲ爲スコトヲ業トスル者

一 相撲 月稅 金貳圓  
一 等 同 金壹圓

二 等 同 金五拾錢  
三 等 同 金貳拾錢

四 等 同 金貳拾錢

一 併優 月稅 金拾五圓

一 等 月稅 金拾五圓



|       |    |      |
|-------|----|------|
| 二 等   | 月稅 | 金拾圓  |
| 三 等   | 同  | 金七圓  |
| 四 等   | 同  | 金五圓  |
| 五 等   | 同  | 金參圓  |
| 六 等   | 同  | 金貳圓  |
| 七 等   | 同  | 金壹圓  |
| 八 等   | 同  | 金五拾錢 |
| 九 等   | 同  | 金貳拾錢 |
| 一 幫 間 | 月稅 | 金壹圓  |
| 一 藝 妓 |    |      |
| 二 藝 妓 |    |      |

|       |    |        |
|-------|----|--------|
| 一 等   | 月稅 | 金參圓    |
| 二 等   | 同  | 金貳圓五拾錢 |
| 三 等   | 同  | 金貳圓    |
| 小 藝 妓 |    |        |

一 等 荏原郡品川町・豐多摩郡内藤新宿町・北豐島郡南千住町・同郡王子村・南足立郡千住町・南葛飾郡隅田村・同郡寺島村・南多摩郡八王子町

二 等 荏原郡品川町・豐多摩郡内藤新宿町・北豐島郡南千住町・同郡王子村・南足立郡千住町・南葛飾郡隅田村・同郡寺島村・南多摩郡八王子町

三 等 荏原郡品川町・豐多摩郡内藤新宿町・北豐島郡南千住町・同郡王子村・南足立郡千住町・南葛飾郡隅田村・同郡寺島村・南多摩郡八王子町

|                     |    |        |
|---------------------|----|--------|
| 一 市 場               | 同  | 金壹圓    |
| 荏原郡品川町青物横町市場        | 月稅 | 金參圓五拾錢 |
| 同 郡大崎村永峰青物市場        | 同  | 金七拾錢   |
| 同 郡大崎村阪下青物市場        | 同  | 金五拾錢   |
| 同 郡大崎村猿町青物市場        | 同  | 金五拾錢   |
| 同 郡入新井村八幡魚市場        | 同  | 金七拾錢   |
| 同 郡大森町大森魚市場         | 同  | 金七圓    |
| 南足立郡千住町千住青物市場       | 同  | 金貳拾圓   |
| 西多摩郡青梅町青梅木綿織物同糸雜品市場 | 同  | 金拾五圓   |
| 同 郡青梅町青梅絹布市場        | 同  | 金五拾錢   |
| 同 郡五日市町五日市生絲繭炭雜品市場  | 同  | 金八圓    |
| 同 郡箱根ヶ崎村木綿織物同種雜品市場  | 同  | 金壹圓    |
| 同 郡東秋留村二宮市場         | 同  | 金五拾錢   |



|                |         |        |
|----------------|---------|--------|
| 南多摩郡八王子町織物市場   | 月稅      | 金四拾圓   |
| 同 郡八王子町生絲繭市場   | 同       | 金參拾五圓  |
| 同 郡八王子町雜品市場    | 同       | 金五圓    |
| 同 郡八王子町元横山食品市場 | 同       | 金七拾錢   |
| 同 郡町田生絲繭雜品市場   | 同       | 金拾五圓   |
| 北多摩郡府中町青物市場    | 同       | 金五拾錢   |
| 同 郡府中町繭絲市場     | 同       | 金五拾錢   |
| 同 郡府中町雜品市場     | 同       | 金壹圓    |
| 同 郡調布町小島青物市場   | 同       | 金五拾錢   |
| 同 郡田無町田無市場     | 同       | 金貳圓五拾錢 |
| 右ニ掲ケサル各市場      | 同       | 金參拾錢   |
| 一演劇            | 上リ高百分ノ七 |        |
| 劇場             | 日稅      | 金壹圓五拾錢 |
| 假設場            | 日稅      | 金壹圓    |
| 一興行            | 日稅      | 金壹圓    |

|                                       |    |        |
|---------------------------------------|----|--------|
| 一遊覽所                                  | 日稅 | 金參拾錢   |
| 一遊技場                                  | 月稅 | 金壹圓五拾錢 |
| 玉突場                                   | 月稅 | 金壹圓五拾錢 |
| 球戲場 <small>玉擲ノ類</small> 楊弓場大弓場半弓場投扇競場 | 同  | 金八拾錢   |
| 室內射的場吹矢場弩弓場其ノ他ノ遊技場                    | 同  | 金八拾錢   |
| 一人寄席                                  | 月稅 | 金貳圓    |
| 一船                                    | 年稅 | 金四拾錢   |

日本形船積石五十石未滿解漁船小廻船(積石ニ拘ラス)  
 長自軸梁 二間未滿 年稅 金四拾錢  
 同 二間 同 金六拾錢  
 但シ二間以上一間ヲ加フル毎ニ金貳拾錢ヲ増加ス一間未滿ヲ加フルト  
 キ亦同シ

|                           |   |        |
|---------------------------|---|--------|
| 遊船                        | 同 | 同      |
| 長 <small>自軸梁</small> 三間未滿 | 同 | 金壹圓    |
| 同 三間                      | 同 | 金壹圓五拾錢 |



但シ三間以上一間ヲ加フル毎ニ金五拾錢ヲ増加ス一間未滿ヲ加フルト  
キ亦同シ

一車

自用馬車

二匹立以上

一匹立

鐵道馬車

營業馬車

二匹立以上

一匹立

荷積牛馬車

自用人力車

二人乘

一人乘

營業人力車

年税 金貳拾五圓

同 金拾五圓

同 金拾五圓

同 金拾貳圓

同 金八圓

同 金六圓

同 金五圓

同 金參圓

同 金壹圓五拾錢

同 金壹圓

同 金貳圓

同 金壹圓貳拾錢

一水車

紡織製作其他機關ヲ運轉スルモノ

挽白 徑一尺五寸以上

同 徑一尺五寸未滿

同 三斗張以上

同 三斗張未滿

一乘馬

營業

自用

一屠畜

牛

一馬力ニ付 年税 金貳圓五拾錢

一個ニ付 同 金貳圓

同 同 金壹圓

同 同 金參拾錢

同 同 金貳拾錢

年税 金貳圓

同 金八圓

一頭ニ付 税 金五拾錢





|         |          |      |       |
|---------|----------|------|-------|
| 馬       | 一頭ニ付     | 稅    | 金四拾錢  |
| 犢・羊・豚   | 同        | 同    | 金拾錢   |
| 一採・藻    | 海面百坪ニ付   | 年稅   | 金七拾錢  |
| 海苔採     | 同        | 同    | 金五拾五錢 |
| 一 等     | 同        | 同    | 金四拾錢  |
| 二 等     | 同        | 同    | 金參拾錢  |
| 三 等     | 同        | 同    | 金貳拾錢  |
| 四 等     | 同        | 同    | 同     |
| 五 等     | 同        | 同    | 同     |
| 一自轉車    | 年稅       | 金參圓  |       |
| 一自動車    | 年稅       | 金參拾圓 |       |
| 一火葬場    | 收入金高百分ノ六 |      |       |
| 一日本形船   | 一石ニ付     | 年稅   | 金貳錢五厘 |
| 積石五十石以上 |          |      |       |
| 一西洋形船   |          |      |       |

蒸汽船機械船及客船

河川ヲ航行スルモノニシテ乘客定員四十人以上ノ客船及其ノ曳船

|           |        |    |      |
|-----------|--------|----|------|
| 以上ニ該當セサル船 | 一噸ニ付   | 年稅 | 金七拾錢 |
| 風帆船及其ノ他ノ船 | 一噸ニ付   | 同  | 金貳拾錢 |
| 一法人建物     | 個數一個ニ付 | 年稅 | 金拾五錢 |
| 一狩 獵      | 本稅十分ノ二 |    |      |
| 一所得稅割     | 本稅十分ノ二 |    |      |
| 一畜 犬      | 一頭ニ付   | 年稅 | 金壹圓  |

郡 部  
第二號議案

明治四十一年度東京府郡部歲入歲出豫算書……………修正

歲 入

經 常 部

第一款 地

第一項 地

租

割

金拾八萬四千八百貳拾參圓

金拾八萬四千八百貳拾參圓  
(地租壹圓ニ付五拾錢)

第五章 府會の行動

明治四十年の府會



第二款 營業稅 金參萬千六百七拾壹圓八拾七錢

第一項 商業稅 金貳萬參千四百拾八圓八拾錢

第二項 工業稅 金八千五百貳拾參圓七錢

第三款 雜種稅 金貳拾萬參千四百五拾九圓四拾錢

第四款 營業稅附加稅 金參萬貳千四百九拾圓貳拾錢

第一項 營業稅附加稅 金參萬貳千四百九拾圓貳拾錢

第五款 家屋稅 金拾五萬五千七百八拾六圓貳拾七錢

(修正)金拾五萬七千六百九圓五拾六錢

第一項 家屋稅 金拾五萬五千七百八拾六圓貳拾七錢

(金九、六四四圓二五〇八王子町分金一四六、一四二圓〇二〇其他ノ各町村分一個ニ付八錢四厘)

(修正)金拾五萬七千六百九圓五拾六錢

(金九、七二七圓七五〇八王子町分一四七、八八一圓八一〇其他ノ各町村分一個ニ付八錢五厘)

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

第六款 戶數割 金拾六萬七千九拾六圓拾六錢

(修正)金拾六萬八千五百四拾貳圓八拾八錢

第一項 戶數割 金拾六萬七千九拾六圓拾六錢

(一戶ニ付貳圓參拾壹錢)

(修正)金拾六萬八千五百四拾貳圓八拾八錢

(一戶ニ付貳圓參拾參錢)

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

第七款 財產收入 金四百八圓參拾錢

第一項 不動產收入 金七拾圓

第二項 動產收入 金參拾八圓參拾錢

第三項 特別經濟線入 金參百圓

第八款 國庫下渡金 金九萬九百八拾壹圓參拾貳錢

第一項 警察費下渡金 金九萬九百八拾壹圓參拾貳錢

第九款 雜收入 金六萬八千五百六拾六圓九拾八錢

第十款 市郡連帶郡部收入額 金六萬參千六百七圓九拾錢貳厘

第一項 市郡連帶郡部收入額 金六萬參千六百七圓九拾錢貳厘

經常部合計金九拾九萬八千八百九拾壹圓四拾錢貳厘

(修正)金百萬貳千百六拾壹圓四拾壹錢貳厘

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第五章 府會の行動 明治四十年の府會



第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金五千五百圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金千圓

第二項 農事試驗場費補助金 金參千百圓

第三項 桑種苗配付補助費補助金 金千四百圓

第三款 市部特別負擔金收入 金六千圓

第一項 市部特別負擔金收入 金六千圓

荒川筋橋梁新架費市部特別負擔金收入

臨時部合計金壹萬貳千五百圓

歲入總計金百壹萬千參百九拾壹圓四拾錢貳厘

(修正)金百壹萬四千六百六拾壹圓四拾壹錢貳厘

歲出

經常部

第一款 警察費 金貳拾參萬七千貳百七拾九圓六拾五錢四厘

第一項 俸給及諸給 金拾九萬百八拾五圓七拾錢

巡查六百七十九人月俸拾六圓十二ヶ月分此金拾參萬參百六拾八圓書記七十九人月俸拾四圓此金壹萬參千貳百七拾貳圓巡查宿料六百七十九人分月額壹圓五拾錢警部宿料二十三人分月額參圓此金壹萬參千五拾圓巡查給助壹萬四千四百貳拾四圓其他手當旅費惠與諸傭給

第二項 廳費 金四萬七千九拾參圓九拾五錢四厘

第二款 警察廳舍修繕費 金貳千五百貳拾參圓八拾錢

第一項 修繕費 金貳千五百貳拾參圓八拾錢

第三款 土木費 金拾六萬八千六百拾五圓七拾四錢

第一項 道路橋梁費 金拾五萬貳千四百七拾五圓七拾四錢

第二項 治水堤防費 金壹萬六千四百四拾圓

第四款 郡廳舍修繕費 金四百五拾六圓貳拾五錢

第一項 修繕費 金四百五拾六圓貳拾五錢

第五款 郡役所費 金四萬八千四百參拾七圓六拾錢

第一項 俸給及諸給 金四萬參百九拾貳圓八拾錢

書記百人月俸貳拾圓此金貳萬四千圓視學八人月俸參拾八圓七拾五錢此金參



千七百貳拾圓其他雇員給旅費退官賜金死亡賜金惠與諸備給

第二項 廳 費 金八千四拾四圓八拾錢

第六款 救 育 費 金貳千六拾圓貳拾貳錢

第一項 救 助 費 金貳千六拾圓貳拾貳錢

第七款 諸達書及揭示諸費 金參拾六圓貳拾貳錢五厘

第一項 令 達 諸 費 金參拾六圓貳拾貳錢五厘

第八款 勸 業 費 金貳萬貳千五百參拾八圓八拾九錢六厘

第一項 農 事 試 驗 場 費 金壹萬九千五百四拾八圓八拾五錢六厘

第二項 勸 業 諸 費 金八百六拾四圓五拾參錢

第三項 耕 地 測 量 費 金貳千百貳拾五圓五拾壹錢

第九款 府 費 取 扱 費 金壹萬五千貳百六拾圓

第一項 徵 收 費 金壹萬五千百八拾圓

第二項 滯 納 處 分 費 金八拾圓

第十款 府 吏 員 費 金參千九百參圓

第一項 吏 員 費 金參千九百參圓

第十二款 財 產 費 金拾圓

第一項 管 理 費 金拾圓

第十三款 府 社 費 金四拾圓

第一項 府 社 費 金四拾圓

第十四款 豫 備 費 金五千圓

第一項 豫 備 費 金五千圓

第十五款 市郡分賦郡部負擔額 金參拾四萬六千八百六拾貳圓九拾貳錢參厘

(修正)金參拾四萬九千六百貳圓參錢八厘

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金參拾四萬六千八百六拾貳圓九拾貳錢參厘

(修正)金參拾四萬九千六百貳圓參錢八厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金八拾五萬參千貳拾四圓參拾錢八厘

(修正)金八拾五萬五千七百六拾參錢四拾貳錢參厘

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金千百六拾四圓八拾五錢



- 第一項 建築費 金千百六拾四圓八拾五錢
- 第二款 土木費 金六萬九千百拾壹圓
- 第一項 道路橋梁費 金六萬六千百五拾七圓
- 第二項 治水堤防費 金貳千九百五拾四圓
- 第三款 郡市町村土木補助費 金五萬千五百九拾圓九拾錢
- 第一項 道路橋梁費補助 金貳萬四千七百五拾圓六拾錢
- 第二項 治水堤防費補助 金八百貳拾貳圓四拾錢
- 第三項 堰樋費補助 金貳萬六千拾七圓九拾錢
- 第四款 衛生及病院補助費 金千五百四拾九圓
- 第一項 病院補助費 金千五百四拾九圓
- 第五項 市町村傳染病豫防補助費 金六千圓
- 第一項 市町村傳染病豫防補助費 金六千圓
- 第六款 郡廳舍建築費 金四百貳拾圓參拾四錢
- 第一項 建築費 金四百貳拾圓參拾四錢
- 第七款 勸業費 金貳百六拾圓

第一項 農事試驗場費 金貳百六拾圓

第八款 勸業補助費 金六千九百圓

第一項 勸業補助費 金六千九百圓

府農會補助四千圓實業練習生補助百圓桑苗無償配付補助貳千八百圓

第九款 町村警備補助費 金百拾圓

第一項 町村警備補助費 金百拾圓

第十款 土木費本年度支出額 金壹萬九千百貳拾圓

第一項 道路橋梁費本年度支出額 金壹萬九千百貳拾圓

臨時部合計金拾五萬六千貳百貳拾六圓九錢

歲出總計金百萬九千貳百五拾圓參拾九錢八厘

(修正)金百壹萬千九百八拾九圓五拾壹錢參厘

郡三號議案部 明治四十一年度東京府郡部請願巡查費徵收額……可決

一金貳拾五圓五拾錢 郡部巡查一人一ヶ月分

郡四號議案部 明治四十一年度東京府郡部恩賜金歲入歲出豫

第五章 府會の行動 明治四十年の府會



|    |        |                                  |    |
|----|--------|----------------------------------|----|
| 第郡 | 第五號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部救恤資金歲入歲出<br>豫算書..... | 可決 |
| 第郡 | 第六號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部學資金歲入豫算書.....        | 可決 |
| 第郡 | 第七號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部衛生資金歲入豫算書.....       | 可決 |
| 第郡 | 第八號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部積立金歲入豫算書.....        | 可決 |
| 第郡 | 第九號議案部 | 明治四十年年度東京府郡部歲入歲出追加豫算書.....       | 可決 |

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 第一款 | 地 | 租 | 割 | 金拾壹萬八百九拾參圓八拾錢                               |
| 第一項 | 地 | 租 | 割 | 金拾壹萬八百九拾參圓八拾錢<br><small>(地租壹圓二付參拾錢)</small> |
| 第六款 | 家 | 屋 | 稅 | 金四萬七百八拾圓貳拾九錢                                |

|                       |           |   |   |  |
|-----------------------|-----------|---|---|--|
| 第一項                   | 家         | 屋 | 稅 | 金四萬七百八拾圓貳拾九錢<br><small>(一、五〇五圓八王子町分三八、二七五圓二九〇其ノ他ノ各町村分一個ニ付貳錢貳厘)</small> |
| 第七款                   | 戶         | 數 | 割 | 金四萬參千四百壹圓六拾錢   |
| 第一項                   | 戶         | 數 | 割 | 金四萬參千四百壹圓六拾錢<br><small>(戶二付六拾錢)</small>                                |
| 第二款                   | 市郡連帶郡部收入額 |   |   | 金八萬九千貳百參拾貳圓四拾參錢參厘  |
| 第一項                   | 市郡連帶郡部收入額 |   |   | 金八萬九千貳百參拾貳圓四拾參錢參厘  |
| 經常部合計金貳拾八萬四千參百八圓拾貳錢參厘 |           |   |   |  |

臨時部

|                        |   |   |    |          |                 |                 |
|------------------------|---|---|----|----------|-----------------|-----------------|
| 第二款                    | 國 | 庫 | 補助 | 金        | 金壹萬參千八百參拾八圓參拾貳錢 |                 |
| 第三項                    | 土 | 木 | 費  | 補助       | 金               | 金壹萬參千八百參拾八圓參拾貳錢 |
| 第四款                    | 府 | 債 |    | 金貳拾萬圓    |                 |                 |
| 第一項                    | 府 | 債 |    | 金貳拾萬圓    |                 |                 |
| 第五款                    | 寄 | 付 | 金  | 金四千五百五拾圓 |                 |                 |
| 第一項                    | 土 | 木 | 費  | 寄付       | 金               | 金四千五百五拾圓        |
| 臨時部合計金貳拾壹萬八千參百八拾八圓參拾貳錢 |   |   |    |          |                 |                 |



歲入總計金五拾萬貳千六百九拾六圓四拾四錢參厘

歲出

經常部

第貳款 市郡分賦郡部負擔額 金參拾八萬貳千參百參拾壹圓拾壹錢九厘

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金參拾八萬貳千參百參拾壹圓拾壹錢九厘

經常部合計金參拾八萬貳千參百參拾壹圓拾壹錢九厘

臨時部

第二款 土木費 金八萬四千百九拾八圓參拾貳錢八厘

第一項 道路橋梁費 金六萬參千百九拾四圓八錢參厘

水害復舊工事費

第二項 治水堤防費 金貳萬千四圓貳拾四錢五厘

水害復舊工事費

第三款 郡市町村土木補助費 金參萬四千四百九拾參圓六拾錢

第一項 道路橋梁費補助 金壹萬四千七百四圓貳拾錢

水害復舊工事補助費

第二項 治水堤防費補助 金千參百貳拾圓

水害復舊工事補助費

第三項 塚樋費補助 金壹萬八千四百六拾九圓四拾錢

第貳款 府債費 金千貳百五拾圓

第一項 府債利息 金千貳百五拾圓

臨時部合計金拾壹萬九千九百四拾壹圓九拾貳錢八厘

歲出總計金五拾萬貳千貳百七拾參圓四錢七厘

第十號議案部 起債及利息ノ定率並償還ノ方法……………可決

第一條 明治四十年年度臨時土木費ニ要スル郡部ノ負擔支出ニ充ツル爲東京府權

災救助基金ヨリ金貳拾萬圓ヲ其須要ニ應シ借入ルルモノトス

第二條 借入金ノ利息ハ一ヶ年六分ノ割合トシ借入ノ月ヨリ償還ノ月迄月割ヲ

以テ毎年三月及九月ニ仕拂フモノトス

第三條 借入金ハ來ル明治四十二年度ヨリ同四十五年度ニ至ル四ヶ年度ニ於テ

毎年度三月及九月ニ總額ノ八分ノ一宛ヲ償還スルモノトス



(原案説明) 本年八月中ノ水害ニ因ル土木復舊ノ負擔多大ナルヲ以テ之カ支出ニ補充センカ爲  
借入金ヲ要スルニ由ル

郡部 第十一號議案

明治四十年東京府郡部追加地租割家屋稅戶  
數割賦課方ノ件……………可 決

明治四十年東京府郡部追加地租割地租壹圓ニ付參拾錢家屋稅家屋個數一個ニ付貳錢貳厘戶數割戶數一戶ニ付六拾錢  
ハ郡部ニ屬スル府稅賦課規則所定ノ期限ヲ適用セス左記ノ方法ニ依リ賦課ス  
一 地租割ハ明治四十一年一月一日現在ノ地租額ニ依リ納租者ニ賦課ス  
一 家屋稅ハ明治四十一年一月一日ニ存在スル建物所有者ニ賦課ス但南多摩郡八  
王子町ニ係ルモノハ本年度既定ノ該町會議定課額ニ比例シテ之ヲ定ム  
一 戶數割ハ明治四十一年一月一日ノ現住戶數ヲ準トシ其ノ各戶ノ等級課額ハ本  
年度既定ノ各町村會議定等級課額ニ比例シテ之ヲ定ム  
(原案説明) 地租割家屋稅戶數割ノ追加ヲ要スル爲之カ賦課ニ關スル規程ヲ設クルノ必要アル  
ニ由ル

郡部 第十二號議案

明治四十一年東京府郡部歲入歲出追加豫算書……………可 決

歲 入

臨時部

第一款 繰 越 金 金壹萬貳千圓

第一項 前年度繰越金 金壹萬貳千圓

臨時部合計金壹萬貳千圓

歲入總計金壹萬貳千圓

歲 出

經常部

第四款 市郡分賦郡部負擔額 金千五百八拾六圓貳拾五錢

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金千五百八拾六圓貳拾五錢

經常部合計金千五百八拾六圓貳拾五錢

臨時部

第二款 府 債 費 金壹萬貳千圓

第一項 府 債 利 子 金壹萬貳千圓

臨時部合計金壹萬貳千圓



歲出總計金壹萬參千五百八拾六圓貳拾五錢

部 諮問第一號

府費支辨道ニ編入及變更ノ件……………答申議決

府費支辨道編入ノ路線

| 名 稱       | 郡 名 | 延 長               | 幅               | 現在道路資格及名稱   | 路 線   |
|-----------|-----|-------------------|-----------------|-------------|---|
| 五日市道      | 北多摩 | 八四九〇 <sup>間</sup> | 二五 <sup>間</sup> | 里道          | 豊多摩郡杉並村地内青梅街道ヨリ分岐シ西多摩郡五日市町ニ至ル路線ノ内北多摩郡保谷村地内        |
| 清 戸 道     | 同   | 三九〇               | 二五              | 清 戸 道       | 北豊島郡高田村小石川區境ヨリ埼玉縣ニ通スル路線ノ内北多摩郡保谷村地内                |
| 清 戸 東 京 道 | 同   | 一、四九〇             | 二五              | 同 田 無 間 道   | 北豊島郡石神井村北多摩郡保谷村境富士街道ヨリ分岐シ保谷村地内浦和田無道ニ合シ更ニ分レテ埼玉縣ニ至ル |
| 浦和田無道     | 同   | 一、三七〇             | 二〇              | 同 浦 和 田 無 道 | 北多摩郡保谷村地内志木田無道ヨリ分岐シ埼玉縣ニ至ル                         |

府費支辨道變更ノ路線

| 名 稱  | 郡 名 | 延 長               | 幅               | 現在道路資格及名稱   | 路 線                |
|------|-----|-------------------|-----------------|-------------|--------------------|
| 五日市道 | 北多摩 | 四三〇〇 <sup>間</sup> | 三〇 <sup>間</sup> | 府費支辨千川線停車場道 | 路線ノ兩端五日市道ニ接続スル同一路線 |

府費補助道編入ノ路線

| 名 稱     | 郡 名 | 延 長              | 幅               | 現在道路資格及名稱 | 路 線  |
|---------|-----|------------------|-----------------|-----------|--|
| 田無清瀬道   | 北多摩 | 一六〇 <sup>間</sup> | 二五 <sup>間</sup> | 里道        | 北多摩郡田無町地内所澤往還ヨリ分岐シ同郡清瀬村ニ至ル路線ノ内同郡保谷村地内      |
| 深 大 寺 道 | 同   | 一、三〇五            | 二五              | 同 深 大 寺 道 | 北多摩郡保谷村地内志木田無道ヨリ分岐シ青梅街道ヲ經テ同郡武藏野村地内五日市道ニ接続ス |

右道路ハ北多摩郡保谷村地内及之ニ關聯スルモノニシテ交通頻繁ノ程度他ノ支辨道及補助道ト同一ノ資格アルモノト認ムルト千川線停車場道ハ路線ノ連絡上五日市道ト名稱ヲ變更スルノ適當ナルニ依リ前記ノ通り之ヲ編入若ハ變更セントス

右其ノ會ノ意見ヲ問フ

(答申)諮問ノ趣旨ニ同意ス

明治三十九年度東京府郡部歳入歳出決算書……………承認

府會議員協議會

明治四十年十二月二十一日府會議員協議會を開き、次の各種委員を杉原府會議長の指名にて選定した。而して、府會議長、市部會議長、郡部會議長は、孰れの委員會にも委員として參



加することに決定した。

○警務委員

|         |       |
|---------|-------|
| 齋藤孝治    | 鈴木宗兵衛 |
| 理事酒井泰治  | 高橋義信  |
| 委員長曲木如長 | 須藤壯一郎 |
| 成島菊次良   |       |

(府參事會員ヨリ參加)

|       |      |
|-------|------|
| 今野信隆  | 秋本喜七 |
| 水町猪三郎 |      |

(附記)須藤壯一郎四十一年五月辭職に付大竹仁三郎を捕缺として選任した。

○税源委員

|       |         |
|-------|---------|
| 芳野世經  | 小林好愛    |
| 瀧本八十八 | 飯塚仁兵衛   |
| 徳岡梅吉  | 委員長永田義原 |
| 谷岡慶治  |         |
| 瀨沼伊兵衛 | 松見文平    |
| 青木庄太郎 |         |

(府參事會員ヨリ參加)

○治水委員

|        |       |
|--------|-------|
| 田中吉右衛門 | 大川誠吾  |
| 大木金兵衛  | 川口彌三郎 |
| 大竹仁三郎  | 照内芳次郎 |
| 五木田治郎吉 |       |

(府參事會員ヨリ參加)

|       |      |
|-------|------|
| 松見文平  | 秋本喜七 |
| 富岡彦太郎 |      |

○勸業委員

|         |        |
|---------|--------|
| 委員長中島行孝 | 苗村又右衛門 |
| 理事松尾清次郎 | 南川福藏   |
| 大木宗保    | 廣橋嘉七郎  |
| 袴田瀧三郎   |        |

(府參事會員ヨリ參加)

|      |       |
|------|-------|
| 井田忠信 | 富岡彦太郎 |
| 今野信隆 |       |

○教育委員

|          |         |
|----------|---------|
| 理事日下部三之介 | 委員長南川福藏 |
| 中村平三郎    | 關戸金三郎   |



鶴岡 英文 小澤 芳重

澁谷 龜藏 (府參事會員ヨリ參加)

秋本 喜七 瀨沼 伊兵衛

今野 信隆 ○衛生委員

伊藤 祐治 委員長大井 玄洞

村田 權次郎 石井 芳太郎

田中 友右衛門 笠原 慶藏

村林 彦之 (府參事會員ヨリ參加)

水町 猪三郎 青木 庄太郎

井田 忠信

### 第十一節 明治四十一年の府會

#### 府會議員協議會

一、明治四十一年三月三十日府會議員協議會を開き、杉原府會議議長洋行中の爲め袴田副議長が座長となり協議を進めた。其の事項は、先般司法大臣に榮轉せられた千家前知事に對し

て在職十年の永きに涉り、府政に盡瘁せられたる功勞多大なるにつき、適當の方法を以て感謝の意を表せんとする事で、滿場異議なく之に同意した。そこで、詳細の方法手續等を攻究する爲め袴田瀧三郎長谷川吉次徳岡梅吉松井寅太郎小澤芳重中島行孝松尾清次郎曲不如長を委員に擧げた。

千家前知事はこの席に臨んで告別の挨拶を述べ、之に對し、袴田副議長が一同を代表して謝辭を陳べた。

一、同年九月一日杉原府會議議長が座長となつて、府會議員協議會を開き、政府が明治四十五年に開會すべき日本大博覽會を同五十年に延期した事に關し協議して、東京府會協議會ハ大博覽會延期ニ絶對的反對ナリと決議した。尙延期反對及善後策等に關する委員拾壹名を設けることに決し、座長指名にて芳野世經齋藤孝治曲木如長松尾清次郎高橋義信谷岡慶治井田忠信永田義原酒井泰伊藤祐治日下部三之介を委員に選定し、府會議議長は當然之に加はることゝなつた。

而してこの大博覽會延期に絶對的反對することは、同志へも一應交渉する必要ありとし各府縣會議議長へは府會議議長より、東京市會議議長並東京實業組合聯合會々長へは委員長齋藤孝治より各延期反對に同感ならば、此際相當の方法を以て意志を發表せられたき旨照會することに決した。

(註) この協議會決議の反響として、東京實業組合聯合會々長星野錫及美術家の團體たる國華俱樂部幹事正木直彦外四名から府會議員協議會の決議に同感なると同時に、善後の一策と



して兩三年内に第二回の東京勸業博覽會を開催せられたいと府會議長宛に建議して來た。府會の委員も之と同様の意見であつて、それが漸次具體化し、竟に大正三年に東京大正博覽會を開設するに至つたのである。

通常府會

本會は、明治四十一年十一月二十八日午後二時二十五分に開會し、會議三日間に涉り、十二月二十三日午後六時七分議事終了閉會した。

東京府知事阿部浩は、次の開會の辭を述べた。

「諸君 本日ヲ以テ通常府會並ニ市部會郡部會ヲ開キマス、本官ガ重任ヲ負ヒマシテ今日始メテ茲ニ親シク來年度豫算並ニ之レニ附帶スル所ノ議案ニ就テ諸君ノ御協賛ヲ求メマスルハ本官ノ深ク光榮トスル所デアリマス、來年度ノ豫算ハ世上ノ大勢ニ鑑ミマシテ重キヲ民力ノ培養ニ措キ努メテ經費ノ節約ヲ計リテ編成シタ次第デアリマス、唯茲ニ必要已ムヲ得ナイモノト認メマシテ新ニ計上シタル所謂新事業ノ重ナルモノヲ申セバ  
一 工藝獎勵會補助  
一 種牛購入ニ對スル補助  
一 聯合府縣共進會附屬賣店設置補助  
一 蠶病豫防事務所増築

一 肥料検査所建築  
一 農林學校建築  
一 原町田並ニ青梅街道改修  
一 郡部ニ於ケル巡察ノ増員  
等デアリマス以上ノ新事業並ニ各議案ニ對スル提出ノ理由ハ夫々議案ニ添付シタル説明ニ讓リマシテ茲デハ省略致シテ置キマス、ドウカ宜シク御審議ノ上適當ノ決議アラシムコトヲ希望致シマス（明治四十一年府會速記録）  
杉原議長は、次の事項を報告した。

申官發第一九五號

明治四十一年通常府會市部會郡部會議事參與員別紙ノ通ニ有之候條此段及通知候也

明治四十一年十一月二十六日

東京府知事 阿部 浩

東京府會議長 杉原榮三郎 殿

(別紙)

東京府事務官 堀 信 次 東京府事務官 濱 野 虎 吉  
東京府事務官補 久 保 義 三 郎 東京府技師 用 瀬 松 太 郎







出され、格別の異論もなく可決し、府第一號議案より同第十四號議案迄知事提出の議案全部を委員に付託することゝなつた。而して委員三十五名は議長が指名選定し、齋藤孝治を委員長として、委員を第一部より第五部に分科し、各分科に更に委員長を設けて分擔事項を審議し、之を綜合して審議決定した。其の結果を委員長齋藤孝治から調査ヲ遂ケタル所何レモ其大體ニ於テハ原案ヲ以テ第二讀會ニ付スヘキモノト査定シタリ」と報告し、更に口頭にて、各議案共第二讀會に入りたる後或は多少の修正動議等が提出さるべきことを附言した。之に對し松尾清次郎は「委員に付託したる根本の理由が、名譽職參事會員の行動に不満足の點があるから議案全體を審査せしむるといふにあつた。故に、審査の結果不満足の點の有無を報告中に明示しなければならぬ筈である。然るに、報告には何等其の點に觸れずたゞ、大體に於て原案を以て二讀會に付すべきものと査定したりといふに止まつて居る。苟くも、名譽職參事會員の行動に不満足の點があると動議に於て明示しながら、調査報告に於て其の點に對する審議の結果を明言しないのは、甚だ不完全なる報告である。この報告を本會が是認したならば、之に對して、不満足の行動が何れに在りしかを明示することが出來ずして、無實の妄言を以て名譽職參事會員

を侮辱したことになる。若し、宜しく妄言を謝罪すべきであるといふ建議を提出する者があつたならば、道理上之に賛成しなければならぬであらうし、府會議員全體が名譽職參事會員に謝罪しなければならぬといふ未曾有の事態に立至るのである。斯様の事態に立至ることを避くるため、本會ニ於テ調査ニ付セラレタル議案全部ニ對シ委員會ハ府民ノ負擔力如何ト名譽職參事會員ノ行動トニ鑑ミ第三號議案中警察費ノ内機密費教育費ノ内豊島師範學校費ハ第二讀會ニ於テ殊ニ相當減額スヘキモノト認ム而シテ第十三號議案農林學校建築費繼續年期及支出方法ハ之ヲ廢案トシ殘餘ノ各議案ハ第二讀會ニ付スヘキモノト審議決定ス」と修正したい意見である。抑も機密費は從來參萬參千圓であつたのを本年度は五萬圓に増額計上してあるが、一時に五割を増額するは其の理由に乏しく且其の必要を認められぬ。然るに、漫然之を是認した名譽職參事會員の審査には信を措くことが出來ぬから、相當に減額する必要がある。又豊島師範學校は、其の敷地に關して參事會員が或は八王子或は池袋或は何處と物色に時日を徒費して、明年四月からの開校を不可能の現狀に陥らしめたのであるから、相當減額するも差支ない。又第十三號議案の農學校新設費は、先年園藝學校を設立して府會の建議に對する要



望を充たしてゐるに拘らず、財政困難の折柄更に農學校を新設する必要は認められぬから之を廢案とすべきである。斯様に三點を擧げて、名譽職參事會員の行動に不満足なる所以を明かにしたならば、敢て謝罪の必要も生じないと考へる。若し斯く修正しなかつたならば、委員長の報告夫れ自體が謝罪の意味を包含するものであつて、到底此儘是認することは出来ぬ。敢て修正動議を提出する所以である」と極めて痛烈に陳述した。この動議には村林彦之村田權次郎澁谷龜藏等が熱心に賛意を表したが、曲木如長泰源祐はこの松尾議員の意見を反駁し、毫も謝罪する必要はないと説き、採決の結果、松尾議員の動議は否決となり、委員長の報告が可決され、各議案共二讀會に移して議事を進むことに決定した。

十二月二十三日議事が終了したので、阿部知事が臨場して閉會の辭を述べ、會を閉ぢた。

議案 附建議案・決議案

- 府第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件……………可決
- 府第二號議案 明治四十二年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入割合……………可決

- 府第三號議案 明治四十二年度東京府歳入歳出豫算書……………修正
- 府第四號議案 明治四十二年度東京府罹災救助基金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第五號議案 明治四十二年度東京府小學校教員恩給基金歳入豫算書……………可決
- 府第六號議案 明治四十二年度東京府小學校教員恩給金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第七號議案 明治四十二年度東京府小學校教員加俸資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第八號議案 明治四十二年度東京府教育資金歳入歳出豫算書……………可決
- 府第九號議案 明治四十二年度府立學校基本金歳入豫算書……………可決
- 府第十號議案 明治四十二年度東京府巢鴨病院基本金歳入豫算書……………可決
- 府第十一號議案 明治四十二年度東京府第一中學校戰役紀念獎學金歳入歳出豫算書……………可決



府第十二號議案

明治四十二年度東京府普通教育獎勵金歲入歲

出豫算書.....可決

府第十三號議案

自明治四十二年度至明治四十三年度東京府教育費繼續年期及支出

方法.....修正

府第十四號議案

不動產讓受及處分ノ件.....可決

府第十五號議案

明治四十一年度東京府歲入歲出追加豫算書.....可決

府第十六號議案

自明治三十九年度至明治四十一年度東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件.....可決

府第十七號議案

自明治四十一年度至明治四十一年度東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件.....可決

府第十八號議案

自明治四十一年度至明治四十一年度東京府教育費繼續年期及支出

方法更正ノ件.....可決

府第十九號議案

明治四十一年度東京府小學校教員恩給金歲入

歲出追加豫算書.....可決

明治四十年年度東京府歲入歲出決算書.....承認

- 町村土木費補助ニ關スル建議案.....可決
- 博覽會開設ニ關スル建議案.....可決
- 府有林經營ニ關スル委員設置ニ關スル建議案.....可決
- 癩療養所位置變更ニ關スル建議案.....可決
- 精神病者行旅病人並死亡人救護等ノ費用ニ關スル建議案.....可決
- 細菌檢査所位置變更ニ關スル建議案.....可決
- 長屋構造制限ニ關スル建議案.....可決
- 火災延燒防禦條項ニ關スル建議案.....可決
- 内藤新宿町外四ヶ所貸座敷移轉ニ關スル建議案.....否決

議決摘要

府第一號議案 府會市部會郡部會議決事件ノ分別中改正ノ件...可決

府會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ府會ノ議決ヲ經ヘキ事件ト市部會郡部會ノ議決



ヲ經ヘキ事件トノ分別中左ノ通改ムルモノトス  
市部會議決事件中

「土木費負擔額但荒川筋橋梁新架費及」府吏員費但市内ノ檢稅ニ從事スル吏員ニ關スル諸費ヲ削ル

郡部會議決事件中

勸業費ノ但書中「耕地測量」耕地改良ニ改ム

「府吏員費但郡内ノ檢稅及耕地測量ニ從事スル吏員ニ關スル諸費ヲ削ル

(原案説明) 市部ニ於テ荒川筋橋梁新架費ノ負擔ヲ要セザルニ至リタルト檢稅ニ從事スル吏員ニ關スル費用ヲ連帶經濟ニ移サントスルト耕地測量ニ從事スル吏員ニ關スル諸費ヲ勸業費ニ移シタルト耕地改良ニ關スル一切ノ費用ヲ郡部經濟ノ負擔ト爲サントスルニ由ル

府第二號議案 明治四十二年度府費ニ關スル市部郡部ノ分

擔及收入割合……………可決

明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ明治四十二年度府費ニ關スル市部郡部ノ分擔及收入ノ割合左ノ通定ムルモノトス

市部郡部分擔ノ割合

市 七分三厘  
郡 二分七厘

府統計費

分擔割合參考表

| 府統計費 | 科目        |      | 割合 | 標準 |
|------|-----------|------|----|----|
|      | 市         | 郡    |    |    |
| 目    | 四十二年度市郡割合 |      |    |    |
| 費    | 七分三厘      | 二分七厘 |    | 人口 |

府第三號議案 明治四十二年度東京府歳入歳出豫算書……………修正

歳入

經常部

第一款 財産收入 金壹萬五千五百貳拾六圓五拾五錢四厘

第一項 不動産收入 金八千貳百五拾六圓五拾五錢四厘

第二項 動産收入 金七千貳百七拾圓

第二款 國庫下渡金 金五萬九百八拾八圓八拾九錢

(修正)金五萬七百八圓八拾九錢



第一項 警察費下渡金 金五萬九百八拾八圓八拾九錢

(修正)金五萬七百八圓八拾九錢

(修正理由) 警察費ノ修正ニ伴フニ由ル

第三款 雜 收 入 金拾九萬參千百拾七圓拾七錢五厘

第四款 市 郡 分 賦 額 金百拾貳萬貳千四百四拾四圓九拾貳錢貳厘

(修正)金百拾四萬四千四百四拾壹圓九拾貳錢貳厘

市 部 收 入 金七拾七萬八千九百參拾貳圓五拾九錢四厘

內 (修正)金七拾九萬四千九百四拾四圓八拾九錢四厘

郡 部 收 入 金參拾四萬參千五百拾貳圓參拾貳錢八厘

(修正)金參拾四萬九千九百四拾七圓貳錢八厘

第一項 市 郡 分 賦 額 金百拾貳萬貳千四百四拾四圓九拾貳錢貳厘

(修正)金百拾四萬四千四百四拾壹圓九拾貳錢貳厘

(修正理由) 歳出豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百參拾八萬貳千七拾七圓五拾四錢壹厘

(修正)金百四拾萬參千四百九拾四圓五拾四錢壹厘

臨時部

第一款 國 庫 補 助 金 金貳萬貳千四百參拾九圓九拾貳錢

第一項 傳染病豫防費補助金 金貳千九百拾參圓貳拾七錢

第二項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金貳拾五圓

第三項 蠶病豫防費補助金 金四千貳百四拾五圓

第四項 植樹獎勵費補助金 金貳千五百四拾九圓八拾錢

第五項 教育費補助金 金四千參百圓

第六項 感化院補助費補助金 金千圓

第七項 癩療養費補助金 金七千四百六圓八拾五錢

臨時部合計金貳萬貳千四百參拾九圓九拾貳錢

歳入總計金百四拾萬四千五百拾七圓四拾六錢壹厘

(修正)金百四拾貳萬五千九百參拾四圓四拾六錢壹厘

市 部 收 入 金九拾九萬貳千五百七拾六圓五拾七錢五厘

(修正)金百萬七千五百九拾貳圓四拾七錢五厘

內 郡 部 收 入 金四拾壹萬千九百四拾圓八拾八錢六厘



歲出

經常部

第一款 警察

金拾貳萬八千貳拾貳圓貳拾四錢五厘

第一項 俸給及諸給 (修正)金拾貳萬七千參百貳拾貳圓貳拾四錢五厘

巡查九十二人月俸拾六圓此金壹萬七千六百六拾四圓百五十人月俸拾圓此金壹萬八千圓書記三人月俸拾六圓此金五百七拾六圓巡查宿料九十二人月額貳圓五拾錢此金貳千七百六拾圓其他手當旅費惠與諸傭給巡查給助

第二款 廳

金參萬參千四百五拾壹圓四拾九錢五厘

(修正)金參萬貳千七百五拾壹圓四拾九錢五厘  
(修正理由) 徽章帶具ニ於テ七百圓ヲ削減スルニ由ル(議員酒井泰動議)

第三項 警察機密費 金五萬圓

第二款 警察廳舍修繕費 金五拾圓

第一項 修繕費 金五拾圓

第三款 土木費 金拾貳萬六千七拾參圓拾五錢

第一項 道路橋梁費 金貳百五拾圓

第二項 治水堤防費 金拾貳萬五千八百貳拾參圓拾五錢

第四項 府會議諸費 金壹萬四千參圓

第一項 府會議費 金九千參百八拾四圓

第二項 府參事會諸費 金四千六百拾九圓

第五款 衛生病院費 金拾四萬七千百九拾壹圓八拾八錢六厘

第一項 衛生諸費 金參萬九千八百壹圓參拾五錢六厘

第二項 巢鴨病院費 金九萬四千四百四拾圓拾七錢

第三項 檢徽費 金六千五百貳圓

第四項 屠畜檢查費 金六千四百四拾八圓參拾六錢

第六款 教育費 金四拾壹萬六百九圓九拾五錢

第一項 青山師範學校費 金七萬四千四百五拾四圓六錢

第二項 豐島師範學校費 金參萬八千參百五拾四圓六拾四錢

第三項 女子師範學校費 金參萬六千六拾六圓八拾錢



- 第四項 第一中學校費 金參萬參百七拾五圓六拾九錢
- 第五項 第二中學校費 金壹萬九千八百八拾八圓拾參錢
- 第六項 第三中學校費 金貳萬參千八百六拾參圓七拾八錢
- 第七項 第四中學校費 金貳萬四千百拾七圓七拾八錢
- 第八項 第一高等女學校費 金貳萬貳百九拾五圓九拾參錢
- 第九項 第二高等女學校費 金五千七百四拾五圓九拾八錢
- 第十項 第三高等女學校費 金貳萬千貳百參拾七圓五拾七錢
- 第十一項 第四高等女學校費 金壹萬八千六百拾圓六拾四錢
- 第十二項 織染學校費 金壹萬八千六百貳拾五圓九拾錢
- 第十三項 工藝學校費 金參萬九百五拾四圓六拾八錢
- 第十四項 園藝學校費 金貳萬六千百參拾參圓參拾七錢
- 第十五項 學事諸費 金貳萬千六百八拾參圓八拾四錢
- 第十六項 小學校教員檢定費 金千參百壹圓拾六錢
- 第十七項 留學生費 金九百圓
- 第十八項 退職給與 金千圓

第七款 救育費

第一項 救助費 金拾參萬四百五拾七圓八拾四錢

第八款 諸達書及揭示諸費 金五千七拾壹圓七拾六錢四厘

第一項 令達諸費 金五千七拾壹圓七拾六錢四厘

第九款 勸業費 金七萬四千貳百五拾九圓四錢六厘

第一項 勸業會費 金參萬參千四百五拾貳圓貳錢

第二項 勸業諸費 金壹萬八千八百參拾貳圓拾五錢

第三項 森林經營費 金壹萬九千六百六拾壹圓八拾七錢六厘

第四項 森林調查費 金參百七拾貳圓

第五項 獸疫豫防費 金貳千四百四拾壹圓

第十款 府費取扱費 金四千六百貳圓五拾錢

第一項 徵收費 金八百貳圓五拾錢

第二項 金庫諸費 金參千八百圓

第十款 府廳舍修繕費 金九百五拾圓

第一項 修繕費 金九百五拾圓



第三款 衆議院議員選舉費 金貳百貳拾八圓

第一項 選舉費 金貳百貳拾八圓

第三款 府會議員選舉費 金貳百七拾圓

第一項 選舉費 金貳百七拾圓

第四款 府吏員費 金七萬千四百五拾參圓貳拾貳錢

第一項 吏員費 金七萬千四百五拾參圓貳拾貳錢

第五款 財產費 金九拾圓

第一項 管理費 金九拾圓

第六款 土地收用費 金百九拾貳圓

第一項 審查諸費 金百九拾貳圓

第七款 府社費 金貳拾圓

第一項 府社費 金貳拾圓

第八款 府統計費 金千百貳拾圓

第一項 府統計費 金千百貳拾圓

第九款 豫備費 金壹萬圓

第一項 豫備費 金壹萬圓

經常部合計金百拾貳萬四千六百六拾四圓六拾錢壹厘  
(修正)金百拾貳萬參千九百六拾四圓六拾錢壹厘

臨時部

第一款 土木費 金五萬千九百八拾四圓

第一項 治水堤防費 金五萬千九百八拾四圓

第二款 衛生及病院費 金八百參拾八圓貳拾五錢

第一項 巢鴨病院費 金八百參拾八圓貳拾五錢

第三款 教育費 金壹萬四千九百參拾八圓五拾錢

第一項 師範學校費 金八百拾七圓五拾錢

第二項 中學校費 金五拾五圓

第三項 高等女學校費 金四百八拾七圓五拾錢

第四項 織染學校費 金四千參百四拾圓

第五項 工藝學校費 金千五百五拾圓

第六項 園藝學校費 金七千六百八拾八圓五拾錢



第四款 勸業費

金壹萬九千七百八拾四圓參拾參錢

(修正)金壹萬八千七百八拾四圓參拾參錢

第一項 蠶種貯藏試驗費

金貳百四拾壹圓九拾八錢

第二項 蠶病豫防費

金壹萬九千五百四拾貳圓參拾五錢

(修正)金壹萬八千五百四拾貳圓參拾五錢

(修正理由) 蠶病豫防事務所建築費ニ於テ千圓ヲ削減スルニ由ル(議員永田義原動議)

第五款 府廳舍建築費

金四千九拾七圓五拾錢

第一款 建築費

金四千九拾七圓五拾錢

第六款 市町村傳染病豫防補助費

金百五拾圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費

金百五拾圓

第七款 教育補助費

金參萬貳千參百六拾九圓拾八錢

第一項 教育補助費

金參萬貳千參百六拾九圓拾八錢

東京府教育會補助千圓、日本體育會補助參百圓、實業學校補助貳千五百圓、市町村立小學校教育費補助貳萬八千五百六拾九圓拾八錢

第八款 勸業補助費

金壹萬九百圓

(修正)金九千九百圓

第一款 勸業補助費

金壹萬九百圓

(修正)金九千九百圓

東京勸業協會補助參千圓、避難所設置補助千九百圓、種牛購入費補助千五百圓、  
(千圓)下修正、東京府畜産會補助五百圓、共進會賣店補助貳千圓、工藝獎勵會補助  
貳千圓(千五百圓)下修正)

第九款 感化院補助費

金六千圓

第一項 感化院補助費

金六千圓

代用感化院補助

第十款 教育費本年度支出額

金拾參萬八千七百九拾壹圓拾錢

(修正)金拾六萬貳千九百八圓拾錢

第一項 師範學校費本年度支出額

金拾萬九千七百九拾六圓拾錢

第二項 農學校費本年度支出額

金貳萬八千九百九拾五圓

(修正)金五萬參千百拾貳圓

(修正理由) 府第十三號議案ノ年度割修正ニ伴フニ由ル



臨時部合計金貳拾七萬九千八百五拾貳圓八拾六錢

(修正)金參拾萬千九百六拾九圓八拾六錢

歲出總計金百四拾萬四千五百拾七圓四拾六錢壹厘

(修正)金百四拾貳萬五千九百參拾四圓四拾六錢壹厘

市部負擔 金九拾九萬貳千五百七拾六圓五拾七錢五厘

內 (修正)金百萬七千五百九拾貳圓四拾七錢五厘

郡部負擔 金四拾壹萬千九百四拾圓八拾八錢六厘

(修正)金四拾壹萬八千參百四拾壹圓九拾八錢六厘

府第四號議案 明治四十二年東京府罹災救助基金歲入

歲出豫算書……………可決

府第五號議案 明治四十二年東京府小學校教員恩給基

金歲入豫算書……………可決

府第六號議案 明治四十二年東京府小學校教員恩給金

歲入歲出豫算書……………可決

府第七號議案 明治四十二年東京府小學校教員加俸資

金歲入歲出豫算書……………可決

府第八號議案 明治四十二年東京府教育資金歲入歲出

豫算書……………可決

府第九號議案 明治四十二年度府立學校基本金歲入豫算書……………可決

府第十號議案 明治四十二年度東京府巢鴨病院基本金歲

入豫算書……………可決

府第十一號議案 明治四十二年度東京府第一中學校戰役紀

念獎學金歲入歲出豫算書……………可決

府第十二號議案 明治四十二年度東京府普通教育獎勵金歲

入歲出豫算書……………可決

府第十三號議案 自明治四十二年度東京府教育費繼續年

至明治四十四年三修正年度



期及支出方法……………修正

一金九萬千貳百八拾六圓五拾錢

教育費中建築費

内

金貳萬八千九百九拾五圓

明治四十二年度支出額

(修正)金五萬參千百拾貳圓

金參萬七百貳拾五圓

明治四十三年度支出額

(修正)金參萬八千百七拾四圓五拾錢

〔金參萬千五百六拾六圓五拾錢

明治四十四年度支出額〔修正削除

農事ノ改良ヲ促カシ殖産ノ増進ヲ計ルハ目下ノ急務トス本府既ニ園藝學校ノ設アリト雖モ普通ノ農業ニ關スル教育機關ノ未タ備ハラサルハ尙遺憾トスル所ナルヲ以テ此ノ要求ヲ充タサンカ爲メ農學校ヲ新設シ「三」「二」ト修正ケ年繼續事業トシテ其ノ完成ヲ期セントス

(修正理由) 農業教育上開校ノ急速ヲ期スル必要ヲ認メ三ケ年繼續ヲ二ケ年繼續ニ短縮スルニ由ル(議員秦源祐勳議)

府第十四號議案 不動産讓受及處分ニ關スル件……………可決

北多摩郡立川村字中立川 千四百八十八番ノ二  
千四百八十九番ノ一  
千四百九十番ノ一 内

一畑 四百六十坪

此見積價格金九百貳拾圓 一坪ニ付金貳圓

右地所蠶病豫防事務所敷地トシテ左記條件ヲ付シ北多摩郡立川村小川保一ヨリ讓受クルモノトス

條件

- 一 蠶病豫防事務所へ通行ノ爲メ道路ニ充ツヘキ土地ハ東京府ノ必要ニ應シ無償ニテ之ヲ使用セシムルコト
- 一 同所構内ノ糞尿ハ明治四十二年四月一日ヨリ同五十九年三月三十一日迄十七ケ年間無代ヲ以テ下付スルコト
- 一 寄付地内現ニ存スル植物ハ別ニ指定スル期日迄ニ之ヲ除去スルコト但該補償トシテ金五拾貳圓七拾錢ヲ下付スルコト
- 一 寄付地ハ蠶病豫防事務所用地タルコトヲ廢止シタル場合ニ於テハ寄付者又ハ



其ノ相續人ニ無償ヲ以テ之ヲ下付スルコト

府第十五號議案 明治四十一年度東京府歳入歳出追加豫算書…可 決

歳入

經常部

第四款 市郡分賦額 金九萬七千四拾八圓五拾五錢  
 第一款 市郡分賦額 金九萬七千四拾八圓五拾五錢  
 經常部合計金九萬七千四拾八圓五拾五錢

臨時部

第一款 國庫補助金 金貳百貳拾六圓六拾六錢  
 第一項 傳染病豫防費補助金 金百六拾六圓六拾六錢  
 第二款 市町村傳染病豫防補助費補助金 金六拾圓  
 臨時部合計金貳百貳拾六圓六拾六錢  
 歳入總計金九萬七千貳百七拾五圓貳拾壹錢

歳出

經常部

第三款 土木費 金六萬千八百四拾圓  
 第二款 治水堤防費 金六萬千八百四拾圓  
 第五款 衛生及病院費 金千圓  
 第一款 衛生諸費 金千圓  
 第六款 教育費 金七千四百五拾五圓七拾九錢  
 第三款 工藝學校費 金參百五拾圓  
 第五項 學事諸費 金四千八百參拾參圓  
 第六項 豊島師範學校費 金貳千貳百七拾貳圓七拾九錢  
 第九款 勸業費 金八百參圓四拾錢  
 第二款 勸業諸費 金八百參圓四拾錢  
 第七款 府吏員費 金四百七拾七圓  
 第一款 吏員費 金四百七拾七圓  
 經常部合計金七萬千五百七拾六圓拾九錢



臨時部

第五款 市町村傳染病豫防補助費 金參百六拾圓

第一款 市町村傳染病豫防補助費 金參百六拾圓

第九款 教育費本年度支出額 金貳萬五千參百參拾九圓貳錢

第一項 工藝學校費本年度支出額 金壹萬六千五拾貳圓參拾參錢

第二項 高等女學校費本年度支出額 金參千貳百四拾六圓

第三項 園藝學校費本年度支出額 金六千四拾圓六拾九錢

臨時部合計金貳萬五千六百九拾九圓貳錢

歲出總計金九萬七千貳百七拾五圓貳拾壹錢

府第十六號議案

自明治三十九年度 至明治四十一年度 東京府教育費繼續年期及支

出方法更正ノ件……………可決

既定額金拾壹萬六千八百八拾八圓貳拾貳錢五厘

一金拾參萬貳千八百七拾圓五拾五錢五厘 教育費中建築費

內

既定額金貳萬九千百拾貳圓貳拾五錢

金四萬五千六百六拾四圓五拾八錢

明治四十一年度支出額

右ハ府立工藝學校建築費ニ於テ原設計ノ變更並物置及倉庫ノ増設ヲ要スルト物價騰貴シタルトニヨリ増額ノ必要ヲ生シタルニ付本案ノ通更正スルモノトス

府第十七號議案

自明治四十一年度 至明治四十一年度 東京府教育費繼續年期及

支出方法更正ノ件……………可決

既定額金五萬七千八百拾壹圓七拾五錢

一金六萬千五百七拾七圓七拾五錢

教育費中建築費

內

既定額金壹萬九千參百四拾貳圓貳拾五錢

金貳萬貳千五百八拾八圓貳拾五錢

明治四十一年度支出額

右ハ府立第四高等女學校建築費ニ於テ物價騰貴ノ爲増額ノ必要ヲ生シタルニ付本案ノ通更正スルモノトス



府第十八號議案

自明治四十一年度 東京府教育費繼續年期及

支出方法更正ノ件……………可決

既定額金五萬六千八百五拾壹圓

一金六萬貳千八百九拾壹圓六拾九錢

教育費中建築費

内

既定額金參萬六千九百拾五圓

金四萬貳千九百五拾五圓六拾九錢

明治四十一年度支出額

右ハ府立園藝學校建築費ニ於テ物價騰貴ノ爲既定豫算ニ不足ヲ生セント寄宿舎模様替並ニ監理場ノ増築ヲ要スルトニ依リ増額ノ必要ヲ生シタルニ付本案ノ通更正スルモノトス

府第十九號議案

明治四十一年度東京府小學校教員恩給金

歳入歳出追加豫算書……………可決

明治四十年年度東京府歳入歳出決算書……………承認

町村土木費補助ニ關スル建議案……………可決

(建議の概要) 南葛飾郡西葛西普通水利組合の事業である古綾瀬川の堰樋を撤去して、門扉に改造すると共に、河底を浚深して荒川中川間に舟揖の便を開くの計畫は、江東一帯に亘る工業發展上に至大の關係ある公益事業であるが、其の工費概算四萬四千圓餘を要し、該組合のみでは其の負擔に堪へぬから、府費を以て相當の補助を與へられたいと、知事に意見書を呈出するので、案は多數を以て可決した(議員佐伯幸四郎外十五名發議)。

博覽會開設ニ關スル建議案……………可決

(建議の概要) 曩に政府が、明治四十五年を期して日本大博覽會開設の計畫を公表し、事務局を置き、會長以下の職員を任命し、其の他着々諸般の施設を進めらるゝと共に、民間も之に呼應して出品の準備に着手し、賛同の諸外國も亦夫々參加の歩武を進めたので、産業界は頓に活氣を呈するに至つた。然るに、圖らずも政府が突如博覽會の開設を明治五十年に延期する旨を發表せられたゝめ、活氣を呈した産業



界は反對に萎靡銷沈の極に陥り、憂慮すべき状態となつた。故に之を救済する適當の對策を講ずることは目下の急務であり、一面に於て、五十年に開かれる大博覽會の準備行爲として、一の博覽會を開設するのは最も必要とする所である。本府は全國の首都として常に他府縣の模範となり、率先公益に盡すの用意と覺悟とがなければならぬ。故に近き將來に於て本府主催の博覽會を開設することが、刻下緊要の事と信ずる。冀くはこの議を採納せられたいと、知事に意見書を呈出するので、案は多數を以て可決した(議員中居健藏外十九名發議)。

府有林經營ニ關スル委員設置ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 山梨縣下所在の本府々有森林は、水源涵養上及將來基本財産造成上に至大の關係があるので、其の經營の良否は各方面に影響する所尠少からず、仍て名譽職の委員五名を設置し、府會議員中より之を選任して經營上の調査を擔當せしめ、以て、永遠の計畫を確立せられんことを望むといふ意見書を知事に呈出するので、案は多數を以て可決した(議員中居健藏外三名發議)。

癩療養所位置變更ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 府下荏原郡目黒村に、東京府外十一縣聯合癩療養所を設置せらるゝ旨公表せられたが、先づ、該郡民が反對を唱へ、次いで、世上の物議も漸く喧しくなつた。本會は公益上等閑に付し難いので、慎重に調査した結果次の結論を得た。

一 該位置は公衆衛生上に危害を及ぼす虞あり

二 該位置は特殊傳染病の永久的隔離所を置くに適當ならず

右の如くで、公益上洵に憂慮に堪へぬ。希くは、他に適當なる地區を選定して、衛生上の危害を除却するの英斷に出られたいと、知事に意見書を呈出するので、建議案は多數を以て可決した(議員石井芳太郎外五名發議)。

精神病者、行旅病人並死亡人救護等ノ費用ニ關スル建議案……………可決

(建議の大要) 去る明治三十九年以來兩度當府會の決議を以て、精神病者及行旅病人並死亡人救護等の費用を國庫支辨に移されたき旨意見書を呈出したが、爾來該費用は倍々増加し、明治四十二年度は約拾參萬圓の豫算を議決するの已むを得ざるに至り、累加の勢は殆んど底止するところを知らない。冀くは篤と實狀を調査



せられて前年來具申の如く、速に國庫の支辨に移されたいと内務大臣に意見書を呈出するので、案は多數を以て可決した(議員中居健藏外八名發議)。

細菌検査所位置變更ニ關スル決議案……………可決

(決議の大要) 從來警視廳構内に設置の細菌検査所を遠からず芝區愛宕町消防署内に移轉せらるゝとのことであるが、斯かる人家稠密な街衢に之を設置するのは危険の虞あるのみならず、延いては民衆の嫌惡を招き恐怖の念を起さしめ、安寧を害すること尠からずと認む。故に當局は、他に適當なる場所を選び、位置を變更する措置を採られたいといふ趣旨で、案は多數を以て可決した(議員田中友右衛門外二十六名發議)。

長屋構造制限ニ關スル決議案……………可決

明治四十年一月警視廳令第三號長屋構造制限ニ關スル件第三條第三號ニ左ノ但書ヲ附加セラレンコトヲ希望ス但各棟ヲ通シテ十二戸迄ハ側面ニ空地ヲ存スルコトヲ要セス

(説明) 本令ハ主トシテ所謂貧民窟等ニ對スル衛生上其他ノ必要ニ出タルモノト思惟ス然ルニ京橋區日本橋區ノ如キ市ノ樞軸タル市街ニモ齊シク適用セラルルハ蓋シ本令ノ趣旨ニ副ハサルノ憾アルノミナラス住民ノ不便迷惑少カラサルニ付前記趣旨ノ改正ヲ要望スル所以ナリ(議員五木田治郎吉外二十七名發議)

火災延焼防禦條項ニ關スル決議案……………可決

明治十四年二月警視總監及東京府知事連名ノ甲第二十七號布達火災延焼防禦條項ハ發布以來年所ヲ經ルコト久シク時勢ノ進運ニ副ハサル結果トシテ現今ニ於テハ殆ント實行セラレス徒法空文ニ屬スル狀況ナリ且又市區改正事業ハ着々進捗シ全市水道ノ布設普キ今日ニ於テハ該布達ノ存在ヲ必要トセサルノミナラス之レアルカ爲東京市民ノ蒙ル不便迷惑實ニ尠少ナラサルニ付速ニ廢止セラレンコトヲ望ム(議員中居健藏外六名發議)

内藤新宿外四ヶ所ノ貸座敷移轉ニ關スル決議案……………否決

(決議の大要) 内藤新宿南北千住、品川、板橋等東京市に接近して存在する貸座敷は



體面上風紀上、教育上等の見地より、到底現在の位置に置く能はざるものであるから、相當の地をトシ移轉せしめんことを望むとの趣旨であるが少數の爲め否決となつた(議員永田義原外四名發議)。

(附) 府會議員協議會の決定に基き設置したる各種の委員は、所管事項に關して屢々委員會を開き、或は實地に就て調査し其の結果を議長に報告する向が多數であつたが、今明治四十年中の主なるものを次に掲げる。

税源委員長永田義原報告明治四十一年十一月二十八日)

- 一 營業稅及家屋稅等ノ課稅標準タル土地ノ等級ハ年所ノ經過及土地ノ盛衰ニ伴ヒ事實ニ適切ナラサルモノ多シ近キ將來ニ於テ政府カ地價修正ヲ斷行ノ上ハ之ヲ參酌シテ改正スルコト但政府ノ改正カ遲延スル場合ハ府單獨ニテ改正スルコト
- 一 藝妓稅ノ等級ヲ廢シ月稅參圓五拾錢ニ改ムルコト
- 一 酌婦稅ヲ新設スルコト
- 一 現行市場稅ハ公平適當ナラサルノ觀アリ調査ノ上改正スル必要アリト認ム
- 一 俳優稅ハ尙之ヲ高ムルノ餘地アリト認ム
- 一 露店稅庭園稅湯殿稅ヲ新設スルモノトシ理事者ニ於テ調査セラレンコトヲ望ム
- 一 衛生委員長大井玄洞報告(同年十月二十日)
- 一 府十一縣聯合癩療養所ヲ荏原郡目黒村ニ設置ノ儀ヲ公表セラレタルモ左ノ理由ニ因リ適當ナラスト認ム

- 一 該所ハ公衆衛生上適當ナラス
- 二 該所ハ特種傳染病ノ永久的隔離所ヲ置クニ適當ナラス

### 通常市部會

本會は、明治四十一年十一月二十八日午後二時三十五分に開議し、會議三日間に涉り、十二月二十三日午後五時三十六分議事終了散會した。

長谷川議長は、會議の同意を得て、袴田瀧三郎、照内芳次郎を會議録署名議員に選定した。

この會議で特筆を要することは、聯帶の會議と同様、議案審議に關する紛紜である。十二月七日の會議に、議員高橋義信、徳岡梅吉、齋藤孝治、曲木如長、酒井泰の五名から、當市部會ノ議ニ付セラレタル歳入歳出豫算ノ各議案ハ本員等ニ於テ名譽職參事會員ノ行動ニ對シ満足シ能ハサルモノアルカ故ニ慎重ノ調査ヲ要スル爲メ委員二十一名ヲ舉ケ議案全部ノ調査ヲ付託センコトヲ望ム」といふ動議があり、何等の異論もなく可決せられて、市部第一號議案より同第七號議案迄提出議案全部が委員付託となつた。委員二十一名は議長に於て指名選定し、曲木如長が委員長



となり、委員を三部に分科し、各分科に更に委員長を置いて分擔事項を審議し、之を綜合して審議決定した。議決の結果は委員長曲木如長から調査ヲ遂ケタル處何レモ大體ニ於テハ原案ヲ以テ第二讀會ニ付スヘキモノト査定シタリ」と報告し、更に口頭を以て各議案中二讀會に入りたる後多少の修正動議が提出せらるべきことを附言した。この委員長報告に對し議員松尾清次郎は聯帶の會議に於て論議した立場として、この報告に賛成することは出来ぬ。名譽職參事會員の行動に對し満足し能はざるものがあるが爲めに、調査委員を設けたのであるから、其の不満足の點に對する調査の結果を明示して報告しなければならぬ筈である。然るに、漫然、大體に於て二讀會に付すべきものと査定したりといふ報告では、委員に付託した趣旨に副はぬから、この調査委員の報告は之を否認するといふ動議を出したが、賛成者がないたため成立せず、委員長の報告が可決され、各議案共二讀會に移して議事を進むることに決定した。

議案

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 市第一號議案部 | 明治四十二年東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………修正 |
| 市第二號議案部 | 明治四十二年東京府市部歲入歲出豫算書……………修正    |

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 市第三號議案部 | 明治四十二年東京府市部請願巡査費徵收額……………可決   |
| 市第四號議案部 | 明治四十二年市部府立學校基本金歲入豫算書……………可決  |
| 市第五號議案部 | 明治四十二年東京府市部學資金歲入豫算書……………可決   |
| 市第六號議案部 | 明治四十二年東京府市部積立金歲入豫算書……………可決   |
| 市第七號議案部 | 市部ニ屬スル府稅賦課規則中改正ノ件……………可決     |
| 市第八號議案部 | 明治四十一年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決 |
| 市第九號議案部 | 府稅賦課ニ關スル件……………可決             |
| 市第十號議案部 | 不動産購入ノ件……………可決               |
| 議決摘要    | 明治四十年東京府市部歲入歲出決算書……………承認     |

|         |                              |
|---------|------------------------------|
| 市第一號議案部 | 明治四十二年東京府市部營業稅雜種稅課目課額……………修正 |
|---------|------------------------------|

雜種稅

一併 優 八 等

年稅 [金] 參 [圓] 修正 [圓] 一三七



九等

一藝妓  
藝妓

二等

一市場

神田區多町外四ヶ町神田青物市場  
 同 區岩本町六番地古着市場  
 同 區岩本町三十番地古着市場  
 日本橋區日本橋組魚市場  
 同 區日本橋四日市組魚市場  
 同 區濱町青物市場  
 京橋區大根河岸青物市場  
 芝區芝金杉組魚市場  
 同區本芝組魚市場  
 本郷區駒込青物市場

年稅 金壹圓五拾錢(修正削除)

月稅 <sup>「金」</sup>參圓五拾錢<sub>「下修正」</sub>

年稅 金五百圓  
 同 金貳百五拾圓  
 同 金參拾五圓  
 同 金千八百圓  
 同 金五百圓  
 同 金六拾圓  
 同 金百七拾圓  
 同 金六拾圓  
 同 金參拾五圓  
 同 金七拾五圓

本所區一ツ目青物市場  
 同 區四ツ目青物市場  
 同 區中ノ郷瓦町青物市場  
 同 區中ノ郷竹町青物市場  
 深川區深川魚市場  
 同 區東京米穀問屋市場  
 同 區東京廻米問屋市場

同 金四拾圓  
 同 金四拾圓  
 同 金貳拾五圓  
 同 金拾五圓  
 同 金百七拾圓  
 同 金拾圓  
 同 金九拾圓

一演劇

大劇場 建坪二百坪以上ノモノ  
 小劇場 建坪二百坪未滿ノモノ

上リ高 <sup>「百分」</sup>ノ<sub>「修正」</sub>  
 同 <sup>「百分」</sup>ノ<sub>「修正」</sub>

(原案説明) 京橋區靈岸島東京和洋船具商糶糶市場本年閉場シタルニ付之ヲ削除セントス  
 (修正理由) 俳優稅ニ在リテハ八等九等ノ差ハ他ノ等級ニ比シ頗ル僅少ニシテ今日ニ於テハ特  
 ニ其ノ等級ヲ分ツノ必要ヲ認メス尙他ノ權衡上最末等ノ課額ヲ高ムルノ至當ナルヲ認ムルト  
 藝妓稅ニ在リテハ一等二等ノ課額ノ差等多キニ失スル嫌アルト演劇稅ニ在リテハ目下ノ狀況  
 ニ鑑ミ其ノ課率ヲ高ムルノ適當ナルヲ認ムルニ由ル(議員酒井泰動議)



市部 第二號議案 明治四十二年度東京府市部歲入歲出豫算書……………修正

歲入

經常部

第一款 地租 金拾五萬八千七百拾參圓四拾貳錢

第一項 地租 金拾五萬八千七百拾參圓四拾貳錢  
(地租壹圓ニ付六拾錢)

第二款 營業 金六萬五千八百七拾八圓拾貳錢

第一項 商業 金四萬參千七百四拾貳圓參拾八錢

第二項 工業 金貳萬貳千百參拾五圓七拾四錢

第三款 雜種 金參拾九萬五千八百七拾五圓八拾貳錢  
(修正)金四拾貳萬千八百圓貳拾四錢

第七項 俳優 金五千五百貳拾六圓五拾錢  
(修正)金五千九百七拾四圓

第十五項 藝妓 金拾參萬七千參百八拾八圓

(修正理由) 課目課額ノ修正ニ伴フニ由ル

(修正)金拾五萬四千九百五拾圓

(修正理由) 課目課額ノ修正ニ伴フニ由ル

金貳萬九千七百圓

(修正理由) 課目課額ノ修正ニ伴フニ由ル

金四拾貳萬六千八百四圓貳錢

第四款 營業稅附加稅 金四拾貳萬六千八百四圓貳錢

第一項 營業稅附加稅 金四拾貳萬六千八百四圓貳錢  
(國稅額ノ百分ノ二十五)

第五款 所得稅附加稅 金拾壹萬四千九百八拾七圓貳拾九錢  
(修正)金八萬四百九拾壹圓拾錢

(修正)金八萬四千九百八拾七圓貳拾九錢

第一項 所得稅附加稅 金拾壹萬四千九百八拾七圓貳拾九錢  
(國稅額ノ百分ノ十)

(修正)金八萬四千九百八拾七圓貳拾九錢

(修正理由) 負擔ノ均衡ヲ稽ヘ削減スルニ由ル

第六款 家屋稅 金參拾九萬貳千六百參拾六圓拾參錢

(修正)金四拾貳萬六千八百拾壹圓五拾七錢

第一項 家屋稅 金參拾九萬貳千六百參拾六圓拾參錢  
(一個ニ付貳錢八厘)



(修正理由) 歳出ノ修正ニ伴フニ由ル  
(修正)金四拾貳萬六千八百八拾壹圓五拾七錢  
(二個ニ付參錢)

第七款 財產收入 金千圓

第一項 財產收入 金千圓

第八款 國庫下渡金 金五拾參萬參千九百九拾九圓四拾八錢

第一項 國庫下渡金 金五拾參萬參千九百九拾九圓四拾八錢

第九款 雜收入 金拾五萬四千九拾八圓貳拾參錢參厘

第十款 市郡連帶市部收入額 金貳拾壹萬參千六百四拾參圓九拾八錢壹厘

(修正)金貳拾壹萬參千六百四拾參圓九拾八錢壹厘

第一項 市郡連帶市部收入額 金貳拾壹萬參千六百四拾參圓九拾八錢壹厘

(修正)金貳拾壹萬參千六百四拾參圓九拾八錢壹厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金貳百四拾五萬四千參拾六圓四拾九錢四厘

(修正)金貳百四拾七萬參千貳百六拾參圓七拾六錢四厘

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金九千百貳拾壹圓六拾六錢

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金千六百六拾六圓六拾六錢

第二項 教育費補助金 金貳千五百圓

第三項 警察費補助金 金四千八百六拾六圓

第四項 警察廳舎建築修繕費補助金 金八拾九圓

臨時部合計金壹萬百貳拾壹圓六拾六錢

歳入總計金貳百四拾六萬四千五百五拾八圓拾五錢四厘

(修正)金貳百四拾八萬參千參百八拾五圓四拾貳錢四厘

歳出

經常部

第一款 警察費 金百四拾萬四千四百五拾五圓七拾壹錢九厘

第一項 俸給及諸給 金百參萬五千五拾九圓貳拾錢

巡查三千四百七十一人月俸拾六圓此金六拾六萬六千四百參拾貳圓、技手十一



人月俸參拾五圓此金四千六百貳拾圓書記二百四人月俸拾六圓此金參萬九千  
百六拾八圓巡查宿料三千四百七十一人分月額貳圓五拾錢警部消防士機關士  
宿料二十二分月額五圓此金拾壹萬四千四百五拾圓諸備給(消防)拾壹萬參千五  
百拾六圓九拾五錢其他手當旅費惠與巡查給助

第二項 廳

費 金參拾六萬九千參百九拾六圓五拾壹錢九厘

第二款 警察廳舍修繕費

金壹萬四千貳百貳拾參圓拾八錢五厘

第一項 修繕費

費 金壹萬四千貳百貳拾參圓拾八錢五厘

第三款 教育費

費 金壹萬九千參百參拾五圓八拾貳錢

第一項 職工學校費

金壹萬九千參百參拾五圓八拾貳錢

第四款 府費取扱費

金壹萬五千四百五拾圓

第一項 徵收費

費 金壹萬五千四百五拾圓

第五款 財產費

費 金五圓

第一項 管理費

費 金五圓

第六款 府社費

費 金七拾圓

第一項 府社費

費 金七拾圓

第七款 豫備費 金五千圓

第一項 豫備費 金五千圓

第八款 市郡分賦市部負擔額 金九拾九萬貳千五百七拾六圓五拾七錢五厘

(修正)金百萬七千五百九拾貳圓四拾七錢五厘

第一項 市郡分賦市部負擔額 金九拾九萬貳千五百七拾六圓五拾七錢五厘

(修正)金百萬七千五百九拾貳圓四拾七錢五厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金貳百四拾五萬千百拾六圓貳拾九錢九厘

(修正)金貳百四拾六萬六千百參拾貳圓拾九錢九厘

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金千六百四拾四圓八拾壹錢五厘

第一項 建築費 金千六百四拾四圓八拾壹錢五厘

第二款 教育費 金九百圓七拾九錢

第一項 職工學校費 金九百圓七拾九錢

第三款 市町村傳染病豫防補助費 金壹萬圓



第一項 市町村傳染病豫防補助費 金壹萬圓

臨時部合計金壹萬貳千五百四拾五圓六拾錢五厘

歲出總計金貳百四拾六萬參千六百六拾壹圓九拾錢四厘

(修正)金貳百四拾七萬八千六百七拾七圓八拾錢四厘

市 第三號議案部 明治四十二年度東京府市部請願巡查費徵收額……………可決

一金貳拾六圓五拾錢 市部巡查一人一ヶ月分

市 第四號議案部 明治四十二年度市部府立學校基本金歲入豫算

書……………可決

市 第五號議案部 明治四十二年度東京府市部學資金歲入豫算書……………可決

市 第六號議案部 明治四十二年度東京府市部積立金歲入豫算書……………可決

市 第七號議案部 市部ニ屬スル府稅賦課規則中改正ノ件……………可決

東京府市部ニ屬スル府稅賦課規則中左ノ通改正スルモノトス  
第三章中營業稅附加稅ノ次ニ及所得稅附加稅ヲ加フ  
(原案說明) 明治四十二年度ヨリ所得稅附加稅ノ賦課ヲ爲サントスルニ由ル

市 第八號議案部 明治四十一年度東京府市部歲入歲出追加豫算書……………可決

歲入

經常部

第一款 地 租 割 金壹萬五千八百七拾壹圓參拾四錢

第一項 地 租 割 金壹萬五千八百七拾壹圓參拾四錢  
(地租壹圓ニ付六錢)

第五款 家 屋 稅 金八萬四千百參拾六圓參拾壹錢

第一項 家 屋 稅 金八萬四千百參拾六圓參拾壹錢  
(二個ニ付六厘)

第八款 雜 收 入 金千九百拾八圓

第五項 手 數 料 金千九百拾八圓

第九款 市郡連帶市部收入額 金百參拾五圓九拾九錢六厘

第一項 市郡連帶市部收入額 金百參拾五圓九拾九錢六厘



經常部合計金拾萬貳千六拾壹圓六拾四錢六厘

臨時部

第二款 國庫補助金 金八千五百圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金八千五百圓

臨時部合計金八千五百圓

歲入總計金拾壹萬五百六拾壹圓六拾四錢六厘

歲出

經常部

第四款 府費取扱費 金千九百拾八圓

第一項 徵收費 金千九百拾八圓

第九款 市郡分賦市部負擔額 金五萬六千六百四拾七圓八拾九錢七厘

第一項 市郡分賦市部負擔額 金五萬六千六百四拾七圓八拾九錢七厘

臨時部合計金五萬八千五百六拾五圓八拾九錢七厘

臨時部

第二款 教育費 金千貳百五拾圓

第一項 職工學校費 金千貳百五拾圓

第三款 市町村傳染病豫防補助費 金五萬千圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費 金五萬千圓

臨時部合計金五萬貳千貳百五拾圓

歲出總計金拾壹萬八百拾五圓八拾九錢七厘

市九號議案 府稅賦課ニ關スル件……………可決

明治四十一年度追加ニ係ル東京府市部地租割地租壹圓ニ付六錢家屋稅家屋個數一ニ付テハ

左ノ方法ニ依リ賦課ス

一 地租割ハ明治四十二年一月一日現在ノ地租額ニ依リ納租者ニ賦課ス

一 家屋稅ハ明治四十二年一月一日現在ノ建物ニ付キ賦課ス

一 前各項ノ外市部ニ屬スル府稅賦課規則ノ規定ヲ準用ス

(原案説明) 地租割家屋稅ノ追加ヲ要スル爲之カ賦課ニ關スル規定ヲ設クルノ必要アルニ由ル

市十號議案 不動産購入ノ件……………可決



東京市本所區林町二丁目九十二番地  
一市街宅地 六十坪

此見積價格金千貳百圓 一坪ニ付金貳拾圓

右府立職工學校敷地トシテ購入スルモノトス

(原案説明) 府立職工學校機械科教員詰所建築ニ伴ヒ敷地ノ購入ヲ要スルニ由ル

明治四十四年度東京府市部歳入歳出決算書……………承認

通常郡部會

本會は、明治四十一年十一月二十八日午後二時三十七分に開議し、會議四日間  
涉り、十二月二十三日午後六時四分議事終了散會した。

十一月二十八日、松井議長が缺席し又副議長は、曩に小澤議員辭職の儘缺員であ  
つたため、谷岡慶治が假議長となつて、先づ、會議の同意を得、佐伯幸四郎、木崎平六を  
會議録署名議員に選定した。而して、第二日の十二月七日も谷岡議員が假議長に  
推され、副議長の選舉を行つて鶴岡英文が當選し、議長の職務を執つた。次に第三  
日の十二月二十一日に至り松井議長が議長を辭任したので、最終日の十二月二十

三日開議の當初に議長の選舉を行ひ、富岡彦太郎が當選し、直に議長の職務を執る  
ことゝなつた。

議案 附諮問案

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| 第一號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部營業稅雜種稅課目課額……………可決    |
| 第二號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部歳入歳出豫算書……………修正       |
| 第三號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部請願巡查費徵收額……………可決      |
| 第四號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部恩賜金歳入歳出豫算書……………可決    |
| 第五號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部救恤資金歳入歳出豫算書……………可決   |
| 第六號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部學資金歳入豫算書……………可決      |
| 第七號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部衛生資金歳入豫算書……………可決     |
| 第八號議案部  | 明治四十二年度東京府郡部積立金歳入豫算書……………可決      |
| 第九號議案部  | 自明治四十四年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方……………可決  |
| 第十號議案部  | 自明治四十二年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法……………可決 |
| 第十一號議案部 | 明治四十一年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書……………可決     |



第十二號議案 府稅賦課ニ關スル件……………可決

諮問第一號部

明治四十四年度東京府郡部歲入歲出決算書……………承認

府費支辨道府費補助道編入變更廢止並府費支辨道

ノ一部自費變更改修許可ニ關スル件……………答申議決

議決摘要

第一號議案部

明治四十二年度東京府郡部營業稅雜種稅課目

課額……………可決

(註)前年度と同一だから掲載を省略する。然し雜種稅中所得稅割は本年度より課目課額から削除となつた。

第二號議案部

明治四十二年度東京府郡部歲入歲出豫算書……………修正

第一款 地

歲入 經常部 租 割 金貳拾貳萬五拾五圓七錢

第一項 地

租 割 金貳拾貳萬五拾五圓七錢

第二款 營

業 稅 金四萬七千百貳拾八圓參拾八錢

第一項 商

業 稅 金貳萬五千八百九拾參圓參拾五錢

第二項 工

業 稅 金貳萬千貳百參拾五圓參錢

第三款 雜

種 稅 金拾六萬七千八百九拾四圓九拾參錢

第四款 營

業 稅 附加稅 金四萬五千四百九拾參圓六拾九錢

第一項 營

業 稅 附加稅 金四萬五千四百九拾參圓六拾九錢

第五款 所

得 稅 附加稅 金貳萬九千四百貳拾九圓五拾貳錢

第一項 所

得 稅 附加稅 金貳萬九千四百貳拾九圓五拾貳錢

第六款 家

屋 稅 (修正)金拾六萬四千四百拾貳圓八拾八錢

第一項 家

屋 稅 金拾五萬九千九百九拾壹圓五拾參錢

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

(修正)金拾六萬四千四百拾貳圓八拾八錢  
(八、九六〇圓六錢八王子町分、一五五、一八二圓二四八厘其他ノ各町村分一個ニ付七錢八厘)



第七款 戶數割 金拾四萬九千七百四拾圓八錢

第一項 戶數割 (修正)金拾五萬貳千六百七拾六圓拾六錢

(修正)金拾四萬九千七百四拾圓八錢

(修正)金拾五萬貳千六百七拾六圓拾六錢

(修正理由) 歲出ノ修正ニ伴フニ由ル

第八款 財產收入 金四百八圓參拾錢

第一項 不動產收入 金七拾圓

第二項 動產收入 金參拾八圓參拾錢

第三項 特別經濟繰入 金參百圓

第九款 國庫下渡金 金拾萬七千貳百七拾圓七拾錢

第一項 警察費下渡金 金拾萬七千貳百七拾圓七拾錢

第十款 雜收入 金九萬貳百六拾貳圓參拾四錢

第十一款 市郡連帶郡部收入額 金六萬八千四百貳拾八圓五拾五錢八厘

(修正)金六萬八千參百九拾四圓九拾五錢八厘

第一項 市郡連帶郡部收入額 金六萬八千四百貳拾八圓五拾五錢八厘

(修正)金六萬八千參百九拾四圓九拾五錢八厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金百八萬六千百參圓九錢八厘

(修正)金百九萬參千百五拾六圓九拾貳錢八厘

臨時部

第一款 繰越金 金千圓

第一項 前年度繰越金 金千圓

第二款 國庫補助金 金壹萬貳千參百參拾六圓

第一項 市町村傳染病豫防補助費補助金 金千圓

第二項 農事試驗場補助金 金貳千六百圓

第三項 桑種苗配付補助費補助金 金千四百六拾六圓

第四項 耕地整理補助費補助金 金參千圓

第五項 耕地改良費補助金 金四千貳百七拾圓

第三款 財產賣拂代 金壹萬貳百六拾五圓四拾錢

第一項 不動產賣拂代 金壹萬貳百六拾五圓四拾錢



臨時部合計金貳萬參千六百壹圓四拾錢  
歲入總計金百拾萬九千七百四圓四拾九錢八錢  
(修正)金百拾壹萬六千七百五拾八圓參拾貳錢八厘

歲出

經常部

第一款 警

第一項 俸給及諸給

金貳拾七萬八千六百六拾五圓七拾五錢四厘

巡查七百十九人月俸拾六圓此金拾參萬八千四拾八圓七十五人月俸給六圓九

ヶ月分此金壹萬八百圓七十五人月俸拾六圓三ヶ月分此金參千六百圓書記七

十九人月俸拾六圓此金壹萬五千六百六拾八圓六人月俸拾六圓三ヶ月分此金貳

百八拾八圓巡查宿料七百十九人分月額壹圓五拾錢此金壹萬貳千九百四拾貳

圓七十五人月額壹圓五拾錢九ヶ月分此金千拾貳圓五拾錢七十五人月額壹圓

五拾錢三ヶ月分此金參百參拾七圓五拾錢警部宿料二十三人月額參圓此金八

百貳拾八圓巡查給助壹萬五千貳百七拾貳圓其他手當旅費惠與諸備給

費

金五萬六千五百六拾七圓貳拾五錢四厘

第二款 應

金貳千五百六拾五圓

第一款 修繕費

金貳千五百六拾五圓

第三款 土木費

金拾六萬七千八百壹圓拾七錢

第一項 道路橋梁費 金拾五萬九千貳百九拾壹圓拾七錢

第二項 治水堤防費 金八千五百拾圓

第四款 郡役所費 金四萬九千五百七拾貳圓貳拾錢

第一項 俸給及諸給 金四萬千八拾四圓八拾錢

書記百人月俸貳拾圓此金貳萬四千圓視學八人月俸四拾圓此金參千八百四拾

圓其他雇員給旅費退官賜金死亡賜金惠與諸備給

第二款 廳舍修繕費

金八千四百八拾七圓四拾錢

第五款 郡廳舍修繕費

金八百四拾參圓九錢

第六款 救育費

金貳千六百六拾貳圓壹錢八厘

第七款 諸達書及揭示諸費

金貳千六百六拾貳圓壹錢八厘



- 第一項 令 達 諸 費 金拾六圓
- 第八款 勸 業 費 金參萬貳千六拾參圓八拾九錢
- 第一項 農事試驗場費 金貳萬貳千六百四拾九圓參拾六錢
- 第二項 勸 業 諸 費 金八百七拾六圓五拾參錢
- 第三項 耕 地 改 良 費 金八千五百參拾八圓
- 第九款 府 費 取 扱 費 金貳萬參百圓
- 第一項 徵 收 費 金貳萬貳百貳拾圓
- 第二項 滯 納 處 分 費 金八拾圓
- 第十款 財 產 費 金拾圓
- 第一項 管 理 費 金拾圓
- 第二款 府 社 費 金四拾圓
- 第一項 府 社 費 金四拾圓
- 第三款 豫 備 費 金五千圓
- 第一項 豫 備 費 金五千圓
- 第三款 市郡分賦郡部負擔額 金四拾壹萬千九百四拾圓八拾八錢六厘

(修正)金四拾壹萬八千參百四拾壹圓九拾八錢六厘

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金四拾壹萬千九百四拾圓八拾八錢六厘

(修正)金四拾壹萬八千參百四拾壹圓九拾八錢六厘

(修正理由) 聯帶豫算ノ修正ニ伴フニ由ル

經常部合計金九拾七萬四千八百八拾圓八厘

(修正)金九拾七萬六千八百八拾壹圓拾錢八厘

臨時部

第一款 警察廳舍建築費 金壹萬參千九百五拾壹圓

第一項 建 築 費 金壹萬參千九百五拾壹圓

警察分署建築費

第二款 土 木 費 金五萬七千九拾壹圓

第一項 道 路 橋 梁 費 金五萬五千四百四拾九圓

第二項 治 水 堤 防 費 金千六百四拾貳圓

第三款 郡市町村土木補助費 金參萬參千九百貳拾貳圓九拾四錢

第一項 道 路 橋 梁 費 補助 金貳萬五百九拾壹圓九拾四錢



- 第二項 治水堤防費補助 金六百參拾六圓四拾錢
- 第三項 坎樋費補助 金壹萬貳千六百九拾四圓六拾錢
- 第四款 衛生及病院補助費 金千六百五拾六圓
- 第一項 病院補助費 金千六百五拾六圓
- 第五款 市町村傳染病豫防補助費 金六千圓
- 第一項 市町村傳染病豫防補助費 金六千圓
- 第六款 郡廳舎建築費 金七百七拾壹圓貳拾六錢八厘
- 第一項 郡廳舎建築費 金七百七拾壹圓貳拾六錢八厘
- 第七款 勸業補助費 金壹萬八千圓
- 第一項 勸業補助費 (修正)金壹萬七千六百圓
- 府農會補助四千五百圓、實業練習生補助百圓、桑種苗無償配付補助四千四百圓
- (四千圓)下修正耕地整理費補助九千圓
- (修正理由) 前年度豫算貳千八百圓ニ對シ増額過大ナリト認ムルニ由ル(議員谷岡慶治動議)

- 第八款 町村警備補助費 金百貳拾壹圓
- 第一項 町村警備補助費 金百貳拾壹圓
- 第九款 土木費本年度支出額 金七千百四拾圓
- 第一項 道路橋梁費本年度支出額 金七千百四拾圓
- 臨時部合計金拾參萬八千六百五拾參圓貳拾錢八厘
- (修正)金拾參萬八千貳百五拾參圓貳拾錢八厘
- 歲出總計金百拾萬九千百參拾參圓貳拾壹錢六厘
- (修正)金百拾壹萬五千百參拾四圓參拾壹錢六厘
- 郡部 第三號議案部 明治四十二年東京府郡部請願巡查費徵收額……可決
- 郡部 第四號議案部 明治四十二年東京府郡部恩賜金歲入歲出豫算書……可決
- 郡部 第五號議案部 明治四十二年東京府郡部救恤資金歲入歲出

第五號議案部 明治四十二年東京府郡部救恤資金歲入歲出

第五章 府會の行動 明治四十一年の府會



豫算書……………可決

第<sub>郡</sub>六號議案部 明治四十二年度東京府郡部學資金歲入豫算書……………可決

第<sub>郡</sub>七號議案部 明治四十二年度東京府郡部衛生資金歲入豫算書……………可決

第<sub>郡</sub>八號議案部 明治四十二年度東京府郡部積立金歲入豫算書……………可決

第<sub>郡</sub>九號議案部 自明治四十四年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法更正ノ件……………可決

出方法更正ノ件……………可決

既定 自明治四十四年度東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

更正 自明治四十五年東京府郡部土木費繼續年期及支出方法

既定額金八萬貳千七百圓

一金八萬貳千七百圓

道路橋梁費

內譯

既定額金壹萬九千四百拾圓

金千四百拾圓

明治四十二年度支出額

內

既定額金壹萬九千四百拾圓

金千四百拾圓

道路改修費

既定額金壹萬貳千六百六拾圓

金壹萬八千四百四拾圓

明治四十三年度支出額

內

既定額金壹萬貳千六百六拾圓

金壹萬八千四百四拾圓

道路改修費

既定額金壹萬貳千六百六拾圓

金壹萬貳千四百四拾圓

明治四十四年度支出額

內

既定額金壹萬貳千六百六拾圓

金壹萬貳千四百四拾圓

道路改修費

既定額金〇



金壹萬貳千四百四拾圓

明治四十五年度支出額

内

既定額金〇

金壹萬貳千四百四拾圓

道路 改修 費

南多摩郡圖師道ノ一部ハ路線變更ヲ要スル個所ニ就キ調査中ニシテ起工ノ運ニ至ラス五日市青梅往還ハ改修個所工事困難ニシテ豫定ノ如ク進捗セサルヲ以テ年度割ヲ更正スルモノトス

郡第十號議案

自明治四十二年度  
至明治四十五年度 東京府郡部土木費繼續年期及支

出方法

可決

一金參萬五千七百參拾九圓

道路 橋梁 費

内 譯

金六千圓

明治四十二年度支出額

内

金六千圓

道路 改修 費

金壹萬四千六百參拾五圓

明治四十三年度支出額

内

金壹萬四千六百參拾五圓

道路 改修 費

金七千五百五拾貳圓

明治四十四年度支出額

内

金七千五百五拾貳圓

道路 改修 費

金七千五百五拾貳圓

明治四十五年度支出額

内

金七千五百五拾貳圓

道路 改修 費

原町田往還南多摩郡鶴川村町田村地内及青梅街道西多摩郡三田村地内ハ坂路急峻且屈曲甚シキノミナラス幅員狹隘ニシテ交通不便ナルニ依リ之カ改修ノ必要アリ然ルニ其費用多額ヲ要スルヲ以テ之ヲ繼續事業トシテ其竣成ヲ期セントス

郡第十一號議案

明治四十一年度東京府郡部歳入歳出追加豫算書…可決

歳入



經常部

第一款 地 租 割 金參萬六千六百七拾五圓八拾四錢

第一項 地 租 割 金參萬六千六百七拾五圓八拾四錢  
(地租壹圓二付拾錢)

第五款 家 屋 稅 金壹萬六千七百七拾七圓七拾貳錢

第一項 家 屋 稅 金壹萬六千七百七拾七圓七拾貳錢  
(八六圓六〇錢八五子町分、一五、九一六圓一二錢其他ノ各町村分一  
個二付八厘)

第六款 戶 數 割 金壹萬四千六百八拾圓四拾錢

第一項 戶 數 割 金壹萬四千六百八拾圓四拾錢  
(二戶二付貳拾錢)

第十款 市郡連帶郡部收入額 金九拾圓六拾六錢四厘

第一項 市郡連帶郡部收入額 金九拾圓六拾六錢四厘

經常部合計金六萬八千貳百貳拾四圓六拾貳錢四厘

歲入總計金六萬八千貳百貳拾四圓六拾貳錢四厘

歲出

經常部

第三款 土 木 費 金貳萬四千八百四拾貳圓

第一項 道 路 橋 梁 費 金貳萬千八百貳拾貳圓

第二項 治 水 堤 防 費 金參千貳拾圓

第七款 市郡分賦郡部負擔額 金四萬六百貳拾七圓參拾壹錢參厘

第一項 市郡分賦郡部負擔額 金四萬六百貳拾七圓參拾壹錢參厘

經常部合計金六萬五千四百六拾九圓參拾壹錢參厘

臨時部

第二款 土 木 費 金貳千貳百貳拾五圓

第一項 道 路 橋 梁 費 金貳千貳百貳拾五圓

第三款 郡市町村土木補助費 金千貳百四拾五圓貳拾錢

第一項 道 路 橋 梁 費 補助 金七百五圓貳拾錢

第二項 治 水 堤 防 費 補助 金五百四拾圓

臨時部合計金參千四百七拾圓貳拾錢

歲出總計金六萬八千九百參拾九圓五拾壹錢參厘

郡 第十二號議案 府稅賦課ニ關スル件……………可 決



明治四十一年度追加ニ係ル東京府郡部地租割地租壹圓家屋稅家屋個數一戸數割一戸ニ付二付拾錢ニ付テハ左ノ方法ニ依リ賦課ス

一 地租割ハ明治四十二年一月一日現在ノ地租額ニ依リ納租者ニ賦課ス

一 家屋稅ハ明治四十二年一月一日現在ノ建物ニ付キ賦課ス但南多摩郡八王子町ニ係ルモノハ本年度既定ノ該町會議定課額ニ比例シテ之ヲ定ム

一 戸數割ハ明治四十二年一月一日ノ現住戸數ヲ準トシ其ノ各戸ノ等級課額ハ本年度既定ノ各町村會議定等級課額ニ比例シテ之ヲ定ム

一 前各項ノ外郡部ニ屬スル府稅賦課規則ノ規定ヲ準用ス

(原案説明) 地租割家屋稅戸數割ノ追加ヲ要スル爲之カ賦課ニ關スル規程ヲ設クルノ必要アルニ由ル

明治四十年東京府郡部歳入歳出決算書……………承認

郡部 諮問第一號

府費支辨道府費補助道編入變更廢止并府費支辨道ノ一部自費變更改修許可ニ關スル件……………答申議決

府費支辨道編入ノ路線

| 名稱     | 郡名  | 延長                    | 幅                    | 現在道路ノ資格及名稱 | 路線  |
|--------|-----|-----------------------|----------------------|------------|---|
| 目黒停車場道 | 荏原  | 三八三〇 <small>間</small> | 二〇〇 <small>間</small> | 補里部        | 荏原郡大崎村大字上大崎地内ニ於テ大崎道ヨリ分岐シ直線ニ同村大字目黒停車場ニ至ル                   |
| 戸山學校道  | 豊多摩 | 一三三〇                  | 三〇〇                  | 里          | 豊多摩郡戸塚村大字源兵衛地内馬場下道ヨリ分岐シ同村大字諏訪ニテ陸軍戸山學校ニ至ル                  |
| 柏木停車場  | 同   | 一〇〇〇〇                 | 一六餘                  | 補落合        | 同郡中野町ニテ青梅街道ヨリ分岐シ鐵道線路ヲ踏切リ落合村ニテ馬場下道ニ接ス                      |
| 十二社道   | 同   | 七二〇〇                  | 二三餘                  | 補十二社       | 同郡淀橋町大字柏木鹿島横丁道ヨリ分岐シ青梅街道ヲ經過シ大字角管十二社境内ニ至ル                   |
| 中野停車場道 | 同   | 三五五〇                  | 三五〇                  | 里          | 同郡野方村地内ニテ馬場下道ヨリ中野停車場脇ニテ所澤道ニ接ス                             |
| 岩槻間道   | 北豊島 | 二、三六五〇                | 二〇〇                  | 補岩槻間       | 北豊島郡王子町板橋東道ヨリ分岐シ岩淵町大字岩淵ニテ岩槻街道ニ接ス                          |
| 日暮道    | 同   | 一、三八〇〇                | 二〇〇                  | 補日暮        | 同郡日暮里村ニテ千住間道ヨリ分岐シ尾久道ヲ横斷シ荒川渡船場ヲ經テ南足立郡西新井村ニ至リ熊ヶ谷道ニテ東王子道ト接続ス |
| 計      | 南足立 | 一、五八三〇〇               | 二〇〇                  |            |   |
| 東裏道    | 南足立 | 七九〇〇                  | 二〇〇                  | 補東裏        | 南足立郡千住町地内陸前濱街道ヨリ分岐シ牛田坂道ヲ横斷シ綾瀬橋道ニ至ル                        |



| 名      | 郡名  | 延長      | 幅      | 現在道路ノ資格及名稱           | 路   |
|--------|-----|---------|--------|----------------------|---|
| 西裏道    | 南足立 | 一、〇六三六〇 | 二〇〇    | 補西裏道一里               | 南足立郡千住町四丁目陸羽街道ヨリ分岐シ安養院門前ヨリ西裏通リ熊ヶ谷街道ヲ經テ荒川堤ヲ横斷シ陸羽街道ニ至ル其間陸羽街道ヘ聯絡スル横丁ニ筋 |
| 千住道    | 同   | 一、七三四六〇 | 一七餘    | 補塚助道                 | 同郡梅島村ニテ板橋道ヨリ分岐シ伊興村ニテ赤山道ヲ横切リ埼玉縣界ニ接ス                                  |
| 南小名木道  | 南葛飾 | 七五〇〇〇   | 二五〇    | 補火葬場助道               | 南葛飾郡砂川町内深川區扇橋町界ヨリ小名木川河岸通新田火葬場道ニ接ス                                   |
| 龜戸停車場道 | 同   | 一七七〇〇   | 二〇〇    | 補五ノ助橋道               | 同郡龜戸町大字五ノ橋町地内千葉街道ヨリ分岐シ同町大字龜戸字上水神地内總武鐵道龜戸停車場構内ニ至ル                    |
| 霞飯能道   | 西多摩 | 二〇〇〇    | 一、七四五〇 | 補霞飯能道一部              | 西多摩郡霞村地内大字師岡ニ於テ青梅往還ヨリ分岐シ同村大字木ノ下ニテ箱根秩父道ニ接ス                           |
| 町田道    | 南多摩 | 二九五〇〇   | 三〇〇    | 里                    | 南多摩郡町田村大字原町田字十號地内ニ於テ甲州往還ヨリ分岐シ鐵道ヲ踏切リ神奈川縣界ニ至ル                         |
| 町田停車場道 | 同   | 六二〇〇    | 二〇〇    | 同                    | 同郡町田村大字原町田字十號地内ニ於テ甲州往還ヨリ分岐シ町田停車場構内ニ至ル                               |
| 相原停車場道 | 同   | 四七〇〇    | 三〇〇    | 同                    | 同郡堺村大字相原地内大戸往還ヨリ分岐シ相原停車場ニ至ル   |
| 中野往還   | 同   | 四、〇九八八〇 | 二一餘    | 支津久井中往還一部<br>補津久井中野道 | 同郡八王子町字八幡ニテ國道甲州街道ヨリ分岐シ(準市街道一部充用)由井横山兩村ヲ經テ堺村相原ニテ神奈川縣界ニ至ル             |
| 富士見町通道 | 同   | 一五〇〇〇   | 三〇餘    | 里                    | 同郡八王子町織染學校道ヨリ分岐シ準市街道ニ接ス   |
| 甲州北往還  | 同   | 八八四六〇   | 四〇〇    | 同                    | 同郡八王子町地内國道甲州街道ヨリ分岐シ同町五日市八王子間往還ニ接ス                                   |

| 甲州南往還                                | 郡役所道                  | 吉祥寺停車場道   | 南品川道                                       | 砂川道  | 計       |
|--------------------------------------|-----------------------|---|--|--|---------|
| 同                                    | 同                     | 北多摩   | 同  | 北多摩  | 計       |
| 一、〇九四五〇                              | 一〇七五〇                 | 三、二〇三〇〇   | 二、三三八五〇                                    | 二、六三三五〇  | 三、三三七〇〇 |
| 四〇〇                                  | 四〇〇                   | 二二餘   | 二〇〇  | 一五〇  | —       |
| 同                                    | 同                     | 補八王子助道<br>補井ノ頭分道<br>補品川助道<br>補砂川助道                          | 同  | 同  | 同       |
| 同郡八王子町府立織染學校道ヨリ分岐シ同町西部千人町ニテ國道甲州街道ニ至ル | 同郡八王子町狹山往還ヨリ國道甲州街道ニ至ル | 北多摩郡武藏野村地内吉祥寺停車場ニ起リ鐵道線路及井ノ頭道ヲ横斷シ北高井戸道ヲ經テ神代村大字下仙川地内ニテ甲州街道ニ接ス | 同郡狹江村大字岩戸地内黒駒道ヨリ分岐シ厚木道ヲ經テ荏原郡玉川村瀨田地内厚木街道ニ接ス | 北多摩郡砂川村五日市道一ノ橋ヨリ分岐シ大神村ニテ立川停車場道ヲ經テ多摩川ヲ渡リ南多摩郡小宮村大字北平ヲ經テ左ニ入り埼玉往還ニ接ス | —       |

府費支辨道變更ノ路線

| 名稱   | 郡名  | 延長      | 元延長     | 幅   | 現在道路ノ資格及名稱 | 路                                 |
|------|-----|---------|---------|-----|------------|-----------------------------------|
| 馬場下道 | 豐多摩 | 三、四〇三〇〇 | 二、九二七〇〇 | 三三〇 | 支馬場下道一部    | 豐多摩郡戸塚村牛込區境ヨリ落合村中野町ヲ經テ野方村ニテ所澤道ニ接ス |







| 名      | 稱 | 郡名  | 延長    | 幅   | 現在道路ノ資格及名稱 | 路   | 線 |
|--------|---|-----|-------|-----|------------|---|---|
| 田端停車場道 |   | 北豊島 | 一七三〇  | 二五〇 | 里          | 北豊島郡瀧ノ川村地内ニ於テ千住間道ヨリ起リ同村内ニテ道瀧山道ニ接ス                                       |   |
| 東谷津道   |   | 同   | 五三三〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡瀧ノ川村地内鎌倉往還ヨリ分岐シ同村飛鳥山道ヲ横斷シ王子板橋間道ニ接ス                                    |   |
| 小石川西道  |   | 同   | 九二六〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡上練馬村大字上練馬字菅原地内板橋西道ヨリ分岐シ埼玉道ヲ横斷シ大字上練馬字東田柄ヲ經テ下練馬村ニ於テ高田道ニ接ス               |   |
| 白子道    |   | 同   | 一一二〇〇 | 二〇〇 | 同          | 同郡上練馬村大字上練馬字田柄地内埼玉道ヨリ分岐シ板橋西道ヲ横斷同村青梅道ニ接ス                                 |   |
| 青梅支道   |   | 同   | 九五五〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡上練馬村大字下支田字西八丁堀ニ於テ青梅道ヨリ分岐シ埼玉支道ヲ横斷シ石神井村大字谷原地内ニテ谷原橋戸道ニ接ス                 |   |
| 本宿道    |   | 同   | 七四〇〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡下練馬村字御殿地内富士街道ヨリ分岐シ練馬道ヲ横斷シ同村高田道ニ接ス                                     |   |
| 西谷津道   |   | 同   | 三三五〇  | 一五〇 | 同          | 同郡志村大字西臺地内ニ於テ西臺道ヨリ分岐シ同村内本村道ニ接ス  |   |
| 居村道    |   | 同   | 六九八〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡瀧ノ川村地内王子間道ヨリ分岐シ田端停車場道ニ接ス  |   |
| 西田端道   |   | 同   | 九三〇〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡志村大字西臺ニ於テ西臺道ヨリ分岐シ本村道ヲ經テ同村地内荒川ニ至ル                                      |   |
| 大芝道    |   | 南足立 | 九二〇〇  | 二〇〇 | 同          | 南足立郡舎人村地内ニ於テ赤山道ヨリ分岐シ同村内北大師道ニ接ス  |   |
| 大進道    |   | 南葛飾 | 一五四〇〇 | 一七五 | 同          | 南葛飾郡小松川村大字西小松川地内ニ於テ千葉街道ヨリ分岐シ行徳街道ヲ横斷シ境川ヲ過シ又松江村地内丸野道ヲ經テ船堀村大字西船堀地内新川河岸道ニ至ル |   |
| 萩寺道    |   | 同   | 一九八五〇 | 二〇〇 | 同          | 同郡龜戸町地内天神橋道ヨリ分岐シ同町地内柳島道ニ至ル  |   |

| 名      | 稱 | 郡名  | 延長     | 幅   | 現在道路ノ資格及名稱 | 路  | 線 |
|--------|---|-----|--------|-----|------------|--|---|
| 川野道    |   | 西多摩 | 七六〇〇   | 一五〇 | 同          | 西多摩郡小河内村大字河内ニ於テ青梅街道ヨリ分岐シ大字川野ニテ北檜原道ニ接ス                      |   |
| 諏訪下道   |   | 南多摩 | 一〇九〇〇〇 | 一四〇 | 同          | 南多摩郡那摩村大字乞田地内日野往還ヨリ分岐シ同村連光寺内神奈川往還ニ接ス                       |   |
| 多摩八王子道 |   | 同   | 八七三〇〇  | 一五〇 | 同          | 同郡多摩村地内落合道ヨリ分岐シ由木村大字堀ノ内ニ至リ小野路道ニ接ス                          |   |
| 町田大野間道 |   | 同   | 六二五〇〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡町田村大字森野地内甲州街道ヨリ分岐シ鐵道線路ヲ横斷シ神奈川縣高座郡大野村ニ通ス                  |   |
| 小成道    |   | 同   | 七七〇〇〇  | 一五〇 | 同          | 同郡南村大字小川地内津久井往還ヨリ分岐シ鐵道ヲ横斷シ同村大字小成ニ於テ川和道ニ接ス                  |   |
| 津久井中道  |   | 同   | 三〇八九四〇 | 二〇〇 | 津久井中往還道    | 同郡八王子町大字横山ニ於テ埼玉往還ヨリ分岐シ由井横山兩村ヲ經テ栗村大字相原ニテ中野往還ニ接ス(支辨道ヲ補助道ニ變更) |   |
| 牟禮西道   |   | 北多摩 | 五七〇〇〇  | 二〇〇 | 里          | 北多摩郡三鷹村地内北高井戸道ヨリ分岐シ井ノ頭道ニ接ス                                 |   |
| 藥師道    |   | 同   | 一九二八〇〇 | 二〇〇 | 同          | 同郡國分寺村地内國分寺停車場道ヨリ分岐シ志木往還ヲ横斷シ小金井村地内井ノ頭道ニ接ス                  |   |
| 玉川道    |   | 同   | 二〇五八〇〇 | 二〇〇 | 同          | 同郡神代村大字下仙川地内國道甲州街道ヨリ分岐シ同村北野及入間ヲ經テ碓村大字喜多見ニ於テ黒駒道ヲ横斷シ南品川道ニ接ス  |   |
| 野鹽中里道  |   | 同   | 八六〇〇〇  | 二〇〇 | 同          | 同郡清瀬村大字野鹽西ノ原ニ於テ野鹽所澤道ヨリ分岐シ雜司ヶ谷道ヲ横斷シ同村地内下清戸中里道ニ接ス            |   |
| 清戸中里道  |   | 同   | 五三〇〇〇  | 一〇〇 | 同          | 同郡清瀬村大字中里ニ於テ下清戸中里道ヨリ分岐シ同村大字中清戸ニテ村山道ニ接ス                     |   |
| 中神拜島道  |   | 同   | 一七五二八〇 | 一五〇 | 同          | 同郡拜島村地内拜島岸道ヨリ分岐シ砂川道ヲ横斷シ中神村地内中神停車場ニ至ル                       |   |
| 小川道    |   | 同   | 五一〇〇〇  | 三〇〇 | 同          | 同郡砂川村地内五日市道ヨリ分岐シ同村及小平村小川堺立川小平道ニ接ス                          |   |



府費補助道變更ノ路線

| 名稱     | 郡名  | 延長               | 元延長    | 幅    | 現在道路ノ資格及名稱 | 路線   |
|--------|-----|------------------|--------|------|------------|--|
| 徳丸道    | 北豊島 | 一四三五間<br>一七六五間   | 一七六五間  | 二五〇間 | 徳丸道        | 北豊島郡赤塚村川越街道ヨリ本村道ヲ横切リ荒川ニ至ル路線ノ内同村道ヲ三十分間ヲ短縮ス                        |
| 練馬道    | 同   | 一六七〇〇<br>一五〇〇〇   | 一五〇〇〇  | 二四二  | 練馬道        | 同郡下練馬村字中宮ニ於テ埼玉道ヨリ分岐シ上板橋村ニテ川越道ニ至ルノ個所ノ幅員狭隘交通不便ニ付更ニ三十分間ノ個所ニ變更ス      |
| 臺橋道    | 同   | 二〇〇五〇<br>一七二七〇   | 一七二七〇  | 二〇〇  | 臺橋道        | 同郡上板橋村地内ニ於テ下練馬道ヨリ分岐シ川越街道及大谷通ヲ横斷シ高田道ニ接ス                           |
| 西裏分道   | 南足立 | 三四〇〇〇<br>一七七〇〇   | 一七七〇〇  | 二〇〇  | 西裏分道       | 南足立郡千住町四丁目地内中田道ヨリ分岐シ西裏道ヘ二筋ニ分レ接續ス                                 |
| 羽村五日市道 | 西多摩 | 九〇〇〇<br>三四〇〇〇    | 三四〇〇〇  | 一五〇  | 羽村五日市道     | 西多摩郡西多摩村ニ於テ上水堰口道ヨリ分岐シ青梅八王子間往還ニ至ルヨリ分岐シ箱根秩父道ヨリ分岐シ同郡霞村地内岩淵村ニ接ス      |
| 霞飯能分道  | 同   | 六六〇〇〇<br>二四四五〇   | 二四四五〇  | 一九〇  | 霞飯能分道      | 同郡霞村地内箱根秩父道ヨリ分岐シ同郡霞村地内鐵道線路踏切際ニ於テ吉                                |
| 眞光寺三輪道 | 南多摩 | 二七八二〇〇<br>二七三〇〇〇 | 二七三〇〇〇 | 一六〇  | 眞光寺三輪道     | 南多摩郡鶴川村大字眞光寺ニ於テ五字三輪ノ經テ神奈川縣界ニ至ル路線ノ内字六號ヨリ字一號ニ至ル長九百三十七間ノ個所ハ交通上不便ニ付千 |
| 井ノ頭分道  | 北多摩 | 二二二〇〇<br>二六三一〇〇  | 二六三一〇〇 | 二三〇  | 井ノ頭分道      | 北多摩郡三鷹村ニテ北高井戸道ヨリ分岐シ甲州街道ニ接ス                                       |

| 落合道     | 計       |         | 同       | 同       | 同       | 八王子道                             |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------------------------------|
|         | 北多摩     | 荏原      |         |         |         |                                  |
| 三、五九〇〇〇 | 三、〇五九〇〇 | 三、〇五九〇〇 | 三、〇五九〇〇 | 三、〇五九〇〇 | 三、〇五九〇〇 | 二七〇〇〇                            |
| 四、四〇〇〇〇 | 一、〇一五〇〇 | 一、〇一五〇〇 | 一、〇一五〇〇 | 一、〇一五〇〇 | 一、〇一五〇〇 | 一、二四〇〇〇                          |
| 一六〇     | 二〇〇     | 二〇〇     | 二〇〇     | 二〇〇     | 二〇〇     | 二三五                              |
| 品川道     | 北多摩     | 二、八七二七〇 | 四、〇六五七〇 | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡品川村地内南品川道ヨリ分岐ニテ瀧坂道ヲ經テ甲州街道ニ接ス |
| 品川道     | 荏原      | 六九〇〇〇   | 六九〇〇〇   | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡荏原郡玉川村ニテ厚木街道ニ接ス              |
| 計       | 北多摩     | 三、〇五九〇〇 | 四、一四七〇〇 | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡品川村地内南品川道ヨリ分岐ニテ瀧坂道ヲ經テ甲州街道ニ接ス |
| 計       | 荏原      | 六九〇〇〇   | 六九〇〇〇   | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡荏原郡玉川村ニテ厚木街道ニ接ス              |
| 落合道     | 北多摩     | 三、五九〇〇〇 | 四、〇六五七〇 | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡品川村地内南品川道ヨリ分岐ニテ瀧坂道ヲ經テ甲州街道ニ接ス |
| 落合道     | 荏原      | 六九〇〇〇   | 六九〇〇〇   | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡荏原郡玉川村ニテ厚木街道ニ接ス              |
| 落合道     | 北多摩     | 三、〇五九〇〇 | 四、一四七〇〇 | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡品川村地内南品川道ヨリ分岐ニテ瀧坂道ヲ經テ甲州街道ニ接ス |
| 落合道     | 荏原      | 六九〇〇〇   | 六九〇〇〇   | 二〇〇     | 品川道     | 北多摩郡荏原郡玉川村ニテ厚木街道ニ接ス              |

府費補助道廢止ノ路線

| 名稱     | 郡名  | 延長    | 幅   | 路線                                  |
|--------|-----|-------|-----|-------------------------------------|
| 高座道    | 南多摩 | 一九二〇〇 | 二〇〇 | 南多摩郡町田村大字原町地内甲州往還ヨリ分岐シ神奈川縣高座郡大野村ニ接ス |
| 停車場道一部 | 荏原  | 二四四五〇 | 二〇〇 | 荏原郡目黒村地内目黒停車場構外ヨリ鐵道線路ノ踏切ニ至ル         |